

令和 7 年度

山口県学力定着状況確認問題

～結果報告資料～

令和 7 年 1 月

山口県教育庁義務教育課

目 次

I 実施概要	· · · · ·	P 1
II 教科の問題に関する結果	· · · · ·	P 3
III 児童生徒質問調査の結果	· · · · ·	P 14
IV 学力向上に向けた今後の取組	· · · · ·	P 43

I 実施概要

1 目的

児童生徒の客観的な学力状況の経年的な把握と分析を通して、課題解決に向けた指導の工夫改善等の取組の充実を図る全県的な検証改善サイクルを確立し、県内全ての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図る。さらに、C B T^{*1}で実施することにより、児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力^{*2}、デジタル読解力等の資質・能力の育成を図る。

* 1 C B T…Computer Based Testing の略。コンピュータで実施する調査のこと。

* 2 情報活用能力…本調査をC B Tで実施することで児童生徒に育成できる力の一つ

「情報技術は人々の生活にますます身近なものとなっていくと考えられるが、こうした情報技術を手段として学習や日常生活に活用できるようにしていくことも重要」

「情報活用能力は、各教科等の学びを支える基盤であり、これを確実に育んでいくためには、各教科等の特質に応じて適切な学習場面で育成を図ることが重要」

「小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総則編（平成 29 年 7 月）」

「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総則編（平成 29 年 7 月）」

2 実施期間

令和 7 年 10 月 10 日（金）～10 月 15 日（水）小学校第 6 学年、中学校第 2 学年

令和 7 年 10 月 15 日（水）～10 月 17 日（金）小学校第 5 学年、中学校第 1 学年

※ 学校の実情に応じて、各期間で実施することとし、一日の実施教科数、実施教科の順序等は、各学校が定める。

3 実施内容

（1）実施対象等

学年	実施人数	内容（時間）
小学校	第 5 学年	国語、算数（各 40 分）及び質問
	第 6 学年	国語、算数（各 40 分）及び質問
中学校	第 1 学年	国語、数学（各 45 分）及び質問
	第 2 学年	国語、数学、英語（各 45 分）及び質問

（2）教科の問題について

○以下の①、②による総合的な問題とし、記述式の問題（1 問）を出題する。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした問題

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした問題

○問題は、調査実施時点までに学習していると想定される範囲とし、問題の程度は、対象学年までの学習指導要領を基準とする。

(3) 質問調査について

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容を問うものとする。

【データの処理について】

○各学年の実施人数について

- ・教科調査及び質問調査を実施した児童生徒数の最大値を示している。

○平均正答率の算出方法について

- ・問題を実施した全ての児童生徒の解答結果から算出している。

II 教科の問題に関する結果

1 結果概要

(1) 平均正答率

①小学校

	国 語	算 数
第5学年	56.1%	35.1%
第6学年	55.3%	50.4%

②中学校

	国 語	数 学	英 語
第1学年	61.7%	52.8%	
第2学年	62.2%	40.2%	44.6%

(2) 各教科における成果と課題

成果…指導改善や学習改善が図られていると判断できるもの

○過去の調査で出題された類似問題と比較して、正答率が伸びていたり、解答類型に望ましい変化が見られたりした問題

課題…引き続き指導改善や学習改善が必要であると判断できるもの

●過去の調査で出題された類似問題と比較して、正答率が伸びていなかったり、解答類型に望ましい変化がなかったりした問題

※過去の調査…全国学力・学習状況調査、4月確認問題、県学力定着状況確認問題

小学校国語

成果	課題
○情報と情報の関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと •該当問題 第6学年 設問2 (2) 正答率 83.6% •過去の類似問題 R7全学調第6学年 大問1 (2) 正答率 64.9% (山口県) 63.1% (全国)	●引用しながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること •該当問題 第5学年 設問3 (3) 正答率 24.5% •過去の類似問題 R6全学調第6学年 設問1 (2) 正答率 26.1% (山口県) 26.7% (全国)

小学校算数

成果	課題
○百分率で表された割合を使ってもとの量を求める •該当問題 第6学年 設問3 (1) 正答率 60.4% •過去の類似問題 R7全学調第6学年 設問4 (4) 正答率 36.5% (山口県) 40.9% (全国)	●グラフから必要な情報を読み取り、その根拠について説明すること •該当問題 第5学年 設問5 (2) 正答率 9.9% •過去の類似問題 R7県4月確認問題第5学年 設問4 正答率 39.6% (山口県) ●伴って変わる二つの数量の関係を口を使った式に表すこと •該当問題 第5学年 設問2 正答率 14.1%

中学校国語

成果	課題
<p>○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当問題 第2学年 設問2 (1) 正答率 82.2% ・過去の類似問題 R 6 全学調第3学年 設問1 (3) 正答率 42.8% (山口県) 44.0% (全国) 	<p>●根拠を明確にしながら、説明や具体例を加えるなどして、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当問題 第2学年 設問3 (3) 正答率 38.7% ・過去の類似問題 R 7 全学調第3学年 設問1 (4) 正答率 33.1% (山口県) 31.0% (全国)

中学校数学

成果	課題
<p>○立体の見取図の特徴を理解していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当問題 第1学年 設問4 正答率 83.0% ・過去の類似問題 H28 全学調第3学年 設問5 (3) 正答率 80.5% (山口県) 78.8 (全国) 	<p>●整数の性質を文字式を用いて説明すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当問題 第2学年 設問3 正答率 16.5% ・過去の類似問題 R 7 全学調第3学年 設問6 (2) 正答率 23.7% (山口県) 25.7% (全国)

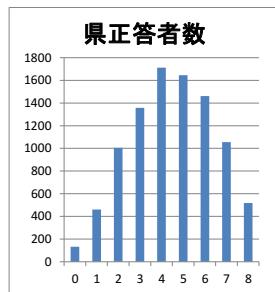
中学校英語

成果	課題
<p>○日常的な話題について、情報を正確に聞き取ること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当問題 第2学年 設問1 (1) 正答率 58.9% ・過去の類似問題 R 5 全学調第3学年 設問2 正答率 56.4% (山口県) 	<p>●文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当問題 第2学年 設問6 (2) 正答率 17.1% ・過去の類似問題 R 6 県学力定着状況確認問題 第2学年 設問6 (2) 正答率 8.2%

小学校第5学年 国語

分類・区分別設問数

全体平均正答率 56.1%			
分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の内容	知識及び技能	2	66.8
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	66.4
		書くこと	41.8
評価の観点	知識・技能	2	66.8
	思考・判断・表現	6	52.5
問題形式	選択式	5	62.5
	短答式	2	55.6
	記述式	1	24.5



設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨				主に学習する学年	学習指導要領の内容			評価の観点		問題形式	関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題（～小学校6年全国学力～）・学習状況	県全体正答率（%）	
			知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	書くこと	読みこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式					
1	(1)	①	目的に応じて、文章と文章を結び付けるなどして、必要な情報を見付けることができるかどうかを見る。				○		○	○				小5_読む_07_☆やまぐち子プラス 読むこと1	3三(1)	53.4	
1	(2)	②	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要点を捉えることができるかどうかを見る。				○		○		○					45.0	
2	(1)	③	話合いの目的に応じて、共に考えたいことは何かを踏まえ、情報を相手から引き出すことができるかどうかを見る。		○				○	○				小5_話すこと聞くこと（話合い） ☆やまぐち子プラス 話すこと聞くこと	1三(1)	66.6	
2	(2)	④	情報と情報の関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかを見る。	○				○		○				小5_話すこと聞くこと（話合い） ☆やまぐち子プラス 話すこと聞くこと	1二	73.9	
2	(3)	⑤	話全体の構成を考えて捉え、話の内容を明確ににすることができるかどうかを見る。		○				○		○					66.2	
3	(1)	⑥	文章全体の構成について捉えることができるかどうかを見る。			○			○	○						2一	59.1
3	(2)	⑦	修飾と被修飾の関係について理解できるかどうかを見る。	○				○		○				小5_書く_07_☆やまぐち子プラス 書くこと1		59.6	
3	(3)	⑧	引用しながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫できるかどうかを見る。			○			○			○				2二	24.5

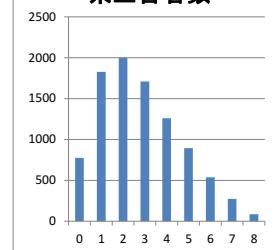
小学校第5学年 算数

分類・区別別設問数

分類		区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の内容	数と計算	2	50.8	
	図形	2	47.5	
	変化と関係	2	26.1	
	データの活用	2	16.0	
評価の観点	知識・技能	6	38.8	
	思考・判断・表現	2	24.1	
問題形式	選択式	3	44.4	
	短答式	4	34.4	
	記述式	1	9.9	

全体平均正答率 35.1%

県正答者数



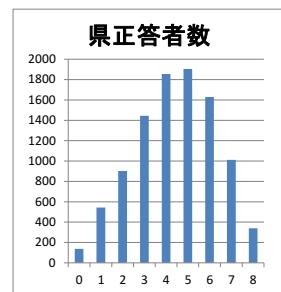
設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査連する「令和7年度年算全国数学力・学習状況	県全体正答率(%)
			数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1 (1) ①	重さと値段を基に、重さをそろえてから値段を比べ、何倍の関係になっているかを求めることができる。	4			○		○	○	○			小4_変化と関係_17		38.2
2 (2) ②	伴って変わる二つの数量の関係を□を使った式に表すことができる。	4			○		○			○		小4_変化と関係_12_変わり方		14.1
3 (1) ③	対応する辺の長さを基に、正方形の面積を求めることができる。	4		○			○		○			小4_図形_09_面積		33.1
3 (2) ④	複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基にとらえ、比べることができる。	4		○			○		○			小4_図形_09_面積		62.0
4 (1) ⑤	分数の意味を理解し、数直線上に表すことができる。	4	○				○		○			小4_数と計算_05_分数	3 (2)	40.9
4 (2) ⑥	四則の混合した式について理解し、正しく計算することができる。	4	○				○			○		小4_数と計算_07_式と計算の順じよ		60.6
5 (1) ⑦	上から2桁の概数の意味を理解し、適切な数値で表すことができる。	4				○	○			○		小4_数と計算_02_およその数		22.0
5 (2) ⑧	グラフから必要な情報を読み取り、その根拠について考察することができる。	4				○	○			○		小4_変化と関係_23_割合	1 (2)	9.9

小学校第6学年 国語

分類・区分別設問数

全体平均正答率 55.3%			
分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の内容	知識及び技能	2	54.5
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと	66.0 53.6 47.1
	評価の観点	知識・技能 思考・判断・表現	54.5 55.5
問題形式	選択式	4	71.9
	短答式	3	38.5
	記述式	1	38.9



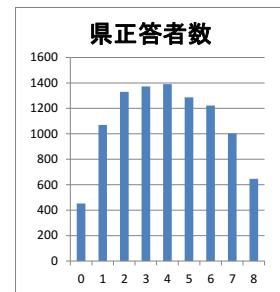
設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容			評価の観点			問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題（～小学校6年全国学力～）・学習状況	県全体正答率（%）
			知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式				
1 (1) ①	目的に応じて、文章と文章を結び付けるなどして、必要な情報を見付けることができるかどうかを見る。	5			○		○	○				小5_読む_07_☆やまぐち子プラス 読むこと1	3三(1)	68.9
1 (2) ②	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要点を捉えることができるかどうかを見る。	4			○		○		○					25.3
2 (1) ③	話合いの目的に応じて、共に考えたいことは何かを踏まえ、情報を相手から引き出すことができるかどうかを見る。	5	○				○	○				小5_話すこと聞くこと（話合い） ☆やまぐち子プラス 話すこと聞くこと	1三(1)	66.9
2 (2) ④	情報と情報の関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかを見る。	5	○				○		○			小5_話すこと聞くこと（話合い） ☆やまぐち子プラス 話すこと聞くこと	1二	83.6
2 (3) ⑤	話全体の構成を考えて捉え、話の内容を明確ににすることができるかどうかを見る。	4	○				○		○					65.0
3 (1) ⑥	文章全体の構成について捉えることができるかどうかを見る。	5		○			○	○					2一	68.3
3 (2) ⑦	修飾と被修飾の関係について理解できるかどうかを見る。	4	○				○			○		小5_書く_07_☆やまぐち子プラス 書くこと1		25.3
3 (3) ⑧	引用しながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫できるかどうかを見る。	5		○			○			○			2二	38.9

小学校第6学年 算数

分類・区別別設問数

		全体平均正答率 50.4%	
分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の内容	数と計算	1	59.0
	図形	3	41.4
	変化と関係	3	53.0
	データの活用	1	60.5
評価の観点	知識・技能	6	50.3
	思考・判断・表現	2	50.5
問題形式	選択式	4	49.7
	短答式	3	54.5
	記述式	1	40.5

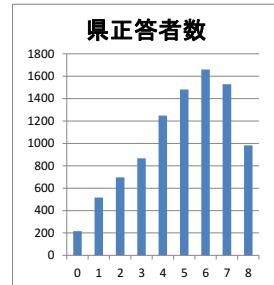


設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査する令和7年度年算全国学力・学習状況	県全体正答率(%)
			数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1	① 分数の通分、約分の意味を理解している。	5	○				○		○	○		小5_数と計算_04_分数2	3(4)	59.0
2	② 直径と円周の関係について説明することができる。	5		○				○	○	○		小5_図形_09_円と正多角形2		40.5
3 (1)	③ 百分率で表された割合を使ってもとにする量を求めることができる。	5		○		○	○		○	○		小5_変化と関係13_割合3	4(4)	60.4
3 (2)	④ 2つの数の関係を理解し、基準となる単位量をもとに考えることができる。	5		○		○	○		○	○		小5_変化と関係_11_単位量あたりの大きさ		54.5
3 (3)	⑤ 比べる数がもとにする数の何倍にあたるかを立式することができる。	4		○		○	○		○	○		小4_変化と関係_17_割合1		44.1
4	⑥ 示されたデータの中から、題意に合った情報を選択し説明することができる。	4			○		○		○	○		小4_データの活用_16_データの活用2		60.5
5 (1)	⑦ ひし形の定義を正しく判断することができる。	5	○				○		○	○		小4_図形_10_四角形2 小5_図形_06_面積3	2(2)	43.3
5 (2)	⑧ 三角形と台形の面積の求め方について説明することができる。	5	○				○			○		小5_図形_06_面積2	2(4)	40.5

分類・区分別設問数

		全体平均正答率 61.7%	
分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の内容	知識及び技能	3	64.4
	思考力、判断力、表現力等	1	70.0
	話すこと・聞くこと	1	55.0
	書くこと	3	58.6
評価の観点	知識・技能	3	64.4
	思考・判断・表現	5	60.1
問題形式	選択式	5	62.9
	短答式	2	62.2
	記述式	1	55.0

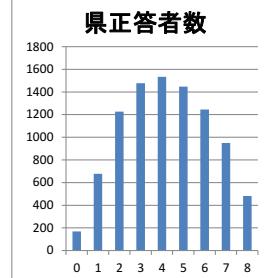


設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容			評価の観点			問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題(令和7年3度年全国学力)・学習状況	県全体正答率(%)
			知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式				
1 (1) ①	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係をふまえながら、適切な語句を選択することができているかどうかを見る。	中1	○			○		○					3三	40.4
1 (2) ②	登場人物の行動について、描写を基に捉えることができているかどうかを見る。	中1				○		○	○					68.4
1 (3) ③	文章全体の要旨について、叙述を基に捉え、把握できているかどうかを見る。	中1				○		○	○			やまぐち子学習プリントプラス中1 読むこと2		44.7
2 (1) ④	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができるかどうかを見る。	中1	○					○		○				79.6
2 (2) ⑤	話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えることができるかどうかを見る。	中1		○				○	○			やまぐち子学習プリントプラス中1 話すこと・聞くこと2		70.0
3 (1) ⑥	接続する語句の役割について理解できるかどうかを見る。	中1	○					○	○					73.3
3 (2) ⑦	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかを見る。	中1				○		○	○				3四	62.7
3 (3) ⑧	根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかを見る。	中1			○			○		○		やまぐち子学習プリント中1 書く	1四	55.0

分類・区分別設問数

分類		区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と式	2	43.6	
	図形	2	59.6	
	変化と関係	2	59.0	
	データの活用	2	49.1	
評価の観点	知識・技能	4	57.6	
	思考・判断・表現	4	48.1	
問題形式	選択式	5	56.1	
	短答式	2	51.6	
	記述式	1	39.0	

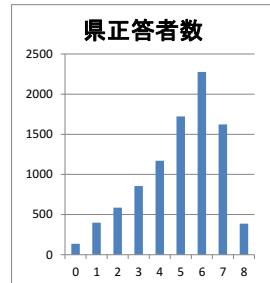


設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点			問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査する中和7年度3年全国学力・学習状況	県全体正答率(%)
			数と式	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	記述式	選択式	短答式	記述式			
1	① 一次式の減法の計算ができる。	中1	○				○		○				1年_文字を用いた式		44.0
2	② 正の数・負の数を使って、条件に合う式に表すことができる。	中1	○					○	○				1年_正の数・負の数		43.2
3	③ 三角形の面積の求め方における底辺と高さの関係を理解し、2つの面積の大小を比較することができる。	小5		○				○	○				小5_面積		36.3
4	④ 立体の見取り図の特徴を理解している。	小4		○			○		○				小4_直方体と立方体		83.0
5	⑤ 場合の数について求めることができる。	小6			○		○	○			○		小6_場合の数		59.2
6	⑥ グラフを読み取り、比例の関係を使って求めることができる。	小6			○			○	○				小6_比例と反比例		73.7
7	⑦ 速さを比較することができる。	小5			○		○		○				小5_速さ		44.2
8	⑧ 適切な代表値を選んで、説明することができる。	小6				○		○			○		小6_資料の調べ方		39.0

分類・区分別設問数

区分		全体平均正答率 62.2%	
分類	対象設問数(問)	県全体正答率(%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	3	60.3
	思考力、判断力、表現力等	1 話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと	73.4 38.7 68.1
	評価の観点	3 知識・技能 思考・判断・表現	60.3 63.3
問題形式	選択式	5	64.5
	短答式	1	82.2
	記述式	1	38.7

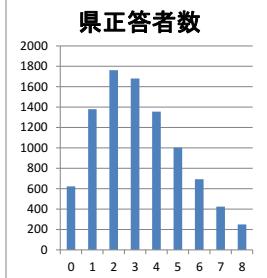


設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容			評価の観点			問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査連する令和7年度全国学力・学習状況	県全体正答率(%)	
			知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	記述式	知識	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式					
1 (1) ①	単語の類別について理解しているかどうかを見る。	中1	○			○		○				やまぐち子学習プリント中2 言語事項2 ステップ1		22.9	
1 (2) ②	叙述を基に、登場人物の行動を捉えることができるかどうかを見る。	中1				○		○		○					53.9
1 (3) ③	場面の展開をふまえ、人物像を捉えることができるかどうかを見る。	中1				○		○	○			やまぐち子学習プリント 読みこと		84.5	
2 (1) ④	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができるかどうかを見る。	中1	○			○			○						82.2
2 (2) ⑤	互いの立場や考え方を尊重しながら話し合う中で、結論を導くための言葉かけを読み取ることができるかどうかを見る。	中2		○				○	○			やまぐち子プラス 話すこと 聞くこと2		73.4	
3 (1) ⑥	具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができるかどうかを見る。	中2	○			○		○							75.8
3 (2) ⑦	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかを見る。	中1				○		○	○					3四	65.9
3 (3) ⑧	根拠を明確にしながら、説明や具体例を加えるなどして、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかを見る。	中1			○			○		○		やまぐち子学習プリント中1 書く	1四	38.7	

分類・区別設問数

区分		対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
評価の観点	数と式	3	35.8
	図形	2	54.0
	関数	1	21.1
	データの活用	2	42.6
評価の観点	知識・技能	4	48.7
	思考・判断・表現	4	31.7
問題形式	選択式	5	37.9
	短答式	2	45.5
	記述式	1	41.1



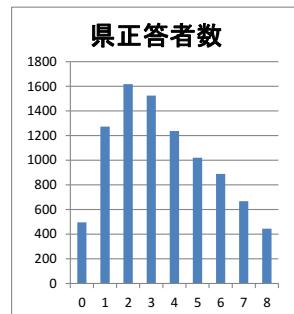
設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査連絡する令和7年3度年全国学力・学習状況	県全体正答率(%)
			数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1	① 小数を含む連立方程式が解ける	中2	○				○		○			2年_連立方程式		72.2
2	② 直方体の表面積を文字を用いて表すことができる	中2	○				○		○			2年_文字式の利用		18.8
3	③ 整数の性質を文字式を用いて説明することができる	中2	○					○	○			2年_文字式の利用	6(2)	16.5
4	④ 表やグラフから数量の関係をとらえることができ、条件に合う数量を求める方法を理解している	中1		○			○	○	○			1年_比例・反比例	8(2)	21.1
5	⑤ 特殊な立体を投影図で表すことができる	中1		○			○		○			1年_空間図形		59.8
6	⑥ 条件に合う作図の方法を説明することができる	中1		○				○	○			1年_平面図形		48.1
7	⑦ 度数分布表から平均値を求める、中央値がある階級を見つけることができる	中1			○	○		○				1年_データの活用		44.1
8	⑧ 度数を用いてデータの特徴を読み取り、問題の条件に合う説明ができる	中1			○		○		○		○	1年_データの活用		41.1

中学校第2学年 英語

分類・区別別設問数

		全体平均正答率 44.6%	
分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	聞く	3	57.7
	読む	2	50.7
	書く	3	27.3
評価の観点	知識・技能	6	43.4
	思考・判断・表現	2	48.1
問題形式	選択式	5	54.9
	短答式	2	21.6
	記述式	1	38.6



設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容		評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	県全体正答率(%)
			聞く	読む	書く	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式		
1	① 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。	1	○			○		○		中1英語_02_一般動詞 (R5解説追加)	58.9
2	② 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。	1	○			○		○		中1英語_05_疑問詞で始まる疑問文	56.8
3	③ まとまりのある英語を聞いて、話の要点を聞き取ることができる。	2	○				○	○		中1英語_07_命令文 (R5解説追加) 中2英語_01_未来の文 (R4改訂) 中2_02_英語接続詞 (R4改訂)	57.5
4	④ 身近な話題に関する英語を読んで、情報を正確に読み取ることができる。	2		○		○		○		中2英語_15_☆やまぐち子プラス読みこと (概要を捉える) (R4作成)	53.0
5	⑤ 身近な話題に関するまとまりのある英語を読んで、情報を正確に読み取ることができる。	2		○		○		○		中2英語_18_☆やまぐち子プラス読みこと (要点を捉える2) (R4作成)	48.5
6	(1) ⑥ 文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる。	2			○	○			○	中2英語_04_助動詞 (R4改訂)	26.2
6	(2) ⑦ 文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる。	1			○	○			○	中1英語_11_不規則動詞の過去形 (R4中2より移行)	17.1
7	⑧ 自分の考えを整理し、まとまりのある英語の文章を書くことができる。	2			○		○		○	中1英語_16_☆やまぐち子プラス書くこと (学校行事の発表原稿)	38.6

III 児童生徒質問調査の結果

小学校	中学校	質問項目
1	1	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。
2	2	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。
3	3	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりできていると思う。
4	4	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげるこ（振り返り）ができていると思う。
5	5	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う。
6	6	授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている。
7	7	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。
8	8	やまぐちっ子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか。
9	9	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。
10	10	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。
11	11	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強をしている時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）。
12	12	国語の勉強が好きだ。
13	13	算数の勉強が好きだ。
	13	数学の勉強が好きだ。
14	14	理科の勉強が好きだ。
	15	英語の勉強が好きだ。
15	16	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、学級の友達と意見を交換する場面で、どの程度使用していますか。
16	17	ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。
17	18	ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。

18	19	自分には、よいところがあると思う。
19	20	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
20	21	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
21	22	読書は好きですか。
22	23	1ヶ月に本（漫画を除く）を何冊ぐらい読みますか。
23	24	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
24	25	（新）今住んでいる地域のことが好きですか。
25	26	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えことがありますか。
26	27	学校で地域の大人が学ぶ姿を見て、自分もがんばろうと思ったことがありますか。
27	28	（新）将来、今住んでいる地域のために役に立つことをしたいと思いますか。
28	29	地域の人々と話し合う場（熟議）に参加して、発言したことがありますか。
29	30	あなたの学校では、保護者や地域の人々が参加して新体力テストを行うなど、家庭と地域が一緒になって体力向上の取組を進めていますか。

次ページからの資料の示し方

- ・資料上段…各質問に関する今回の調査結果
- ・資料下段…各質問と関連する過去の調査結果
(過去の県学力学習状況確認問題との比較)
- ・「やまぐちPRIDE」の醸成に関わる質問
〔小：質問18、中：質問19〕 〔小：質問25、中：質問26〕 ※波線部分

質問ごとの結果 (○ : 成果 △ : 一部成果 ● : 課題)

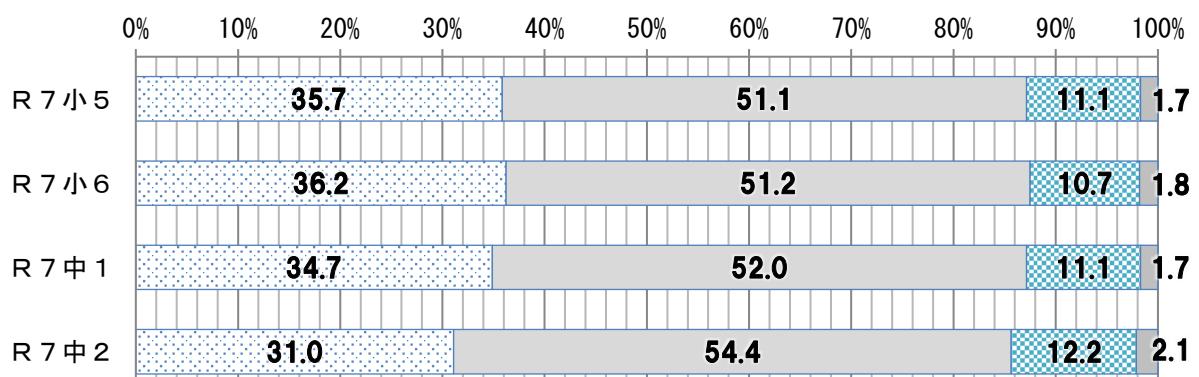
〔質問1〕授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。

△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で80%を超えており、同一児童生徒の経年変化を見ると昨年度よりも減少している。

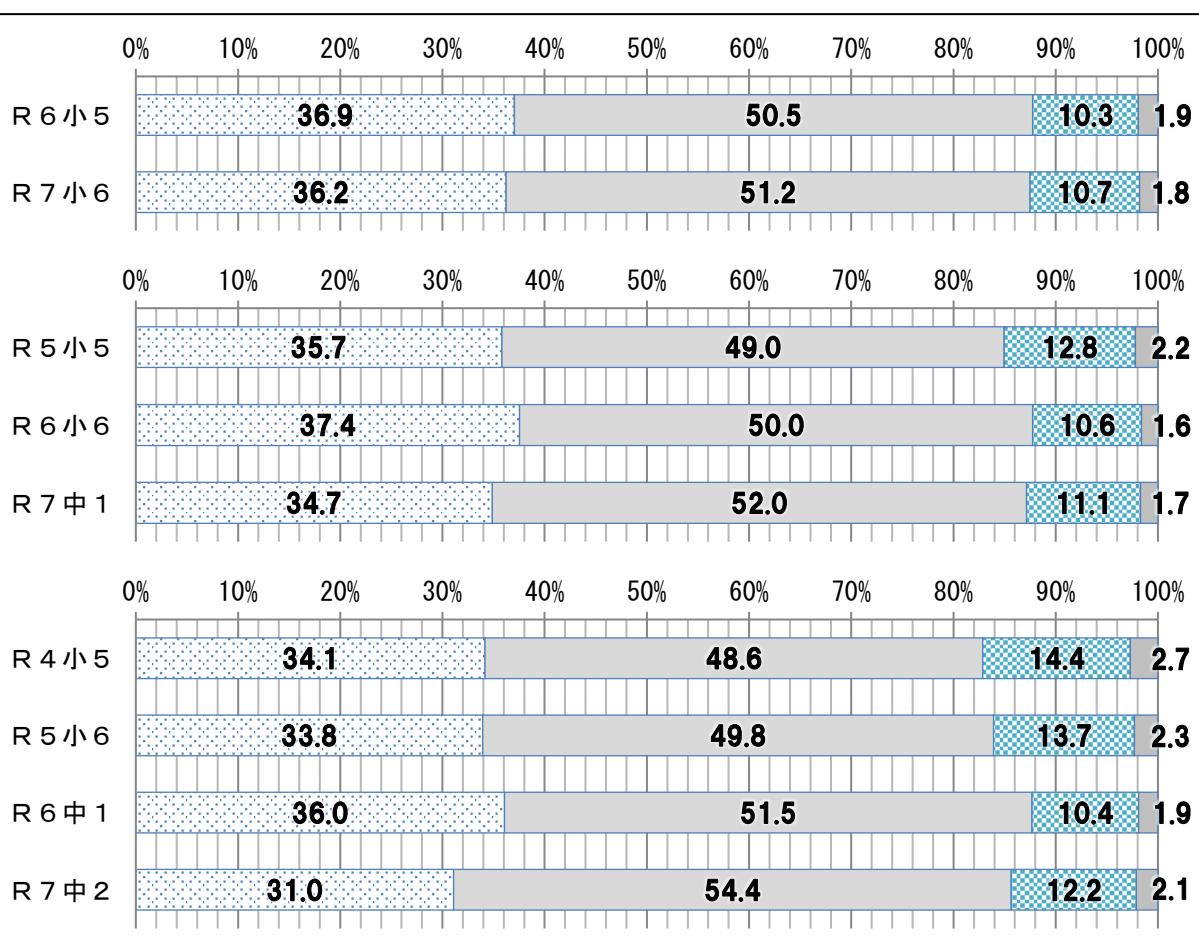
【今年度調査の結果】

1 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| □ 当てはまる | □ どちらかといえば当てはまる |
| ▣ どちらかといえば当てはまらない | ■ 当てはまらない |



【同一児童生徒の経年比較】

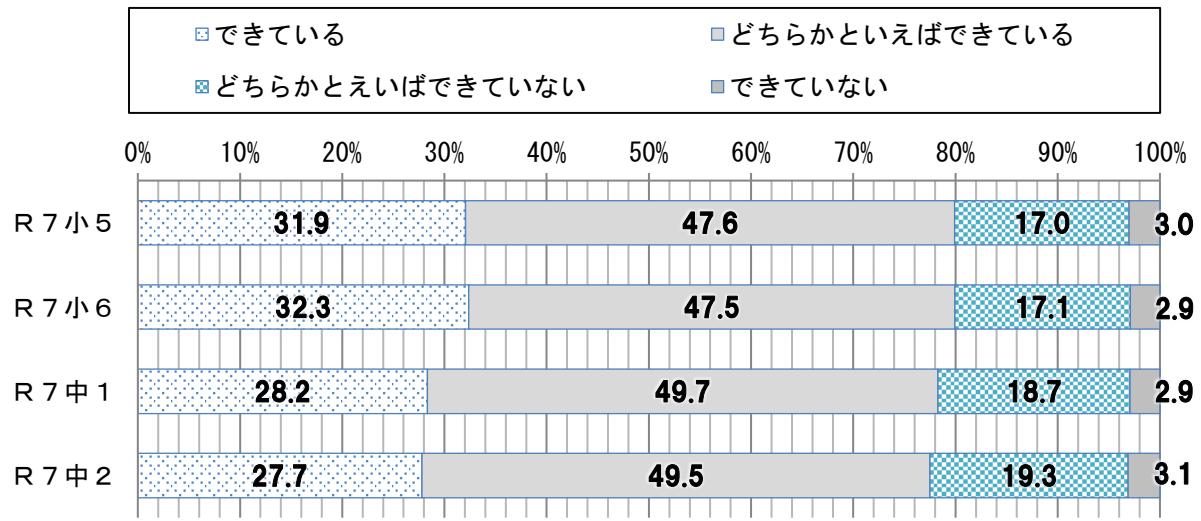


〔質問2〕分からぬことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

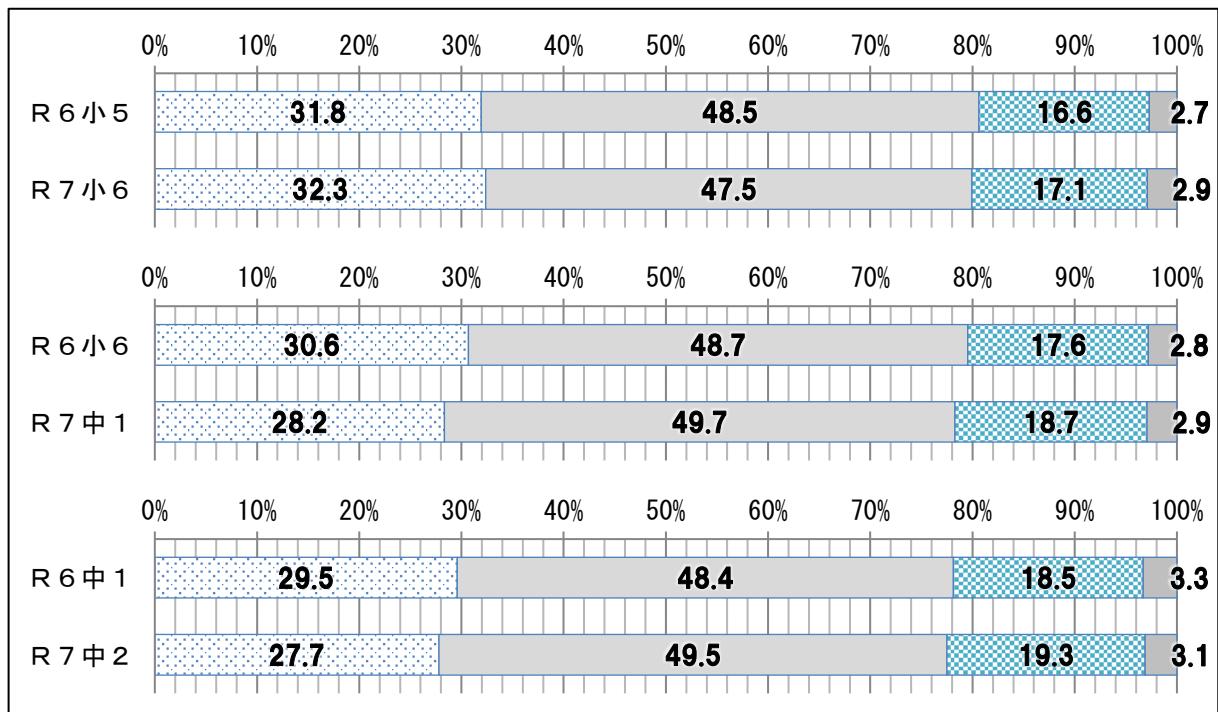
△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で80%程度であるものの、同一児童生徒の経年変化を見ると昨年度よりも減少している。

【今年度調査の結果】

2 分からぬことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。



【同一児童生徒の経年比較】

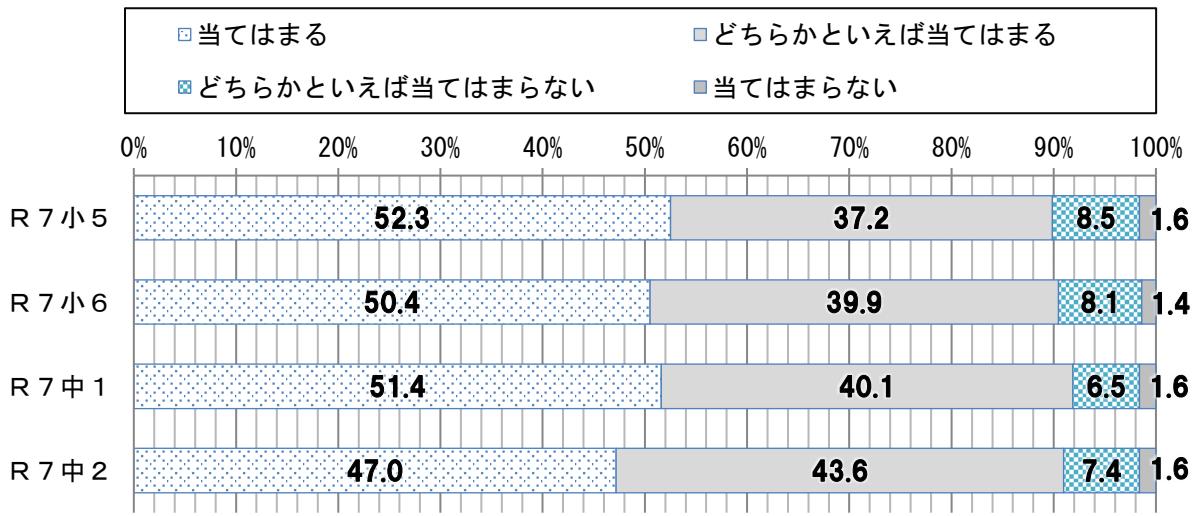


〔質問3〕学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりしていると思う。

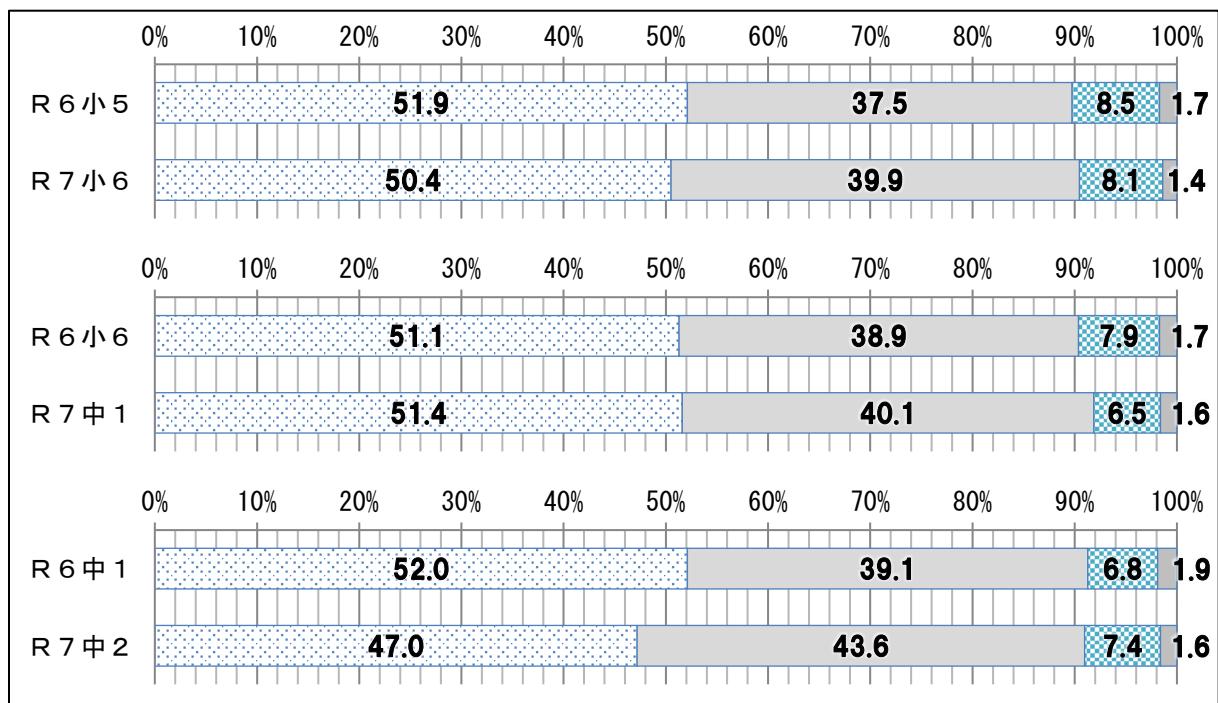
- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で90%程度となっている。

【今年度調査の結果】

3 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりしていると思う。



【同一児童生徒の経年比較】



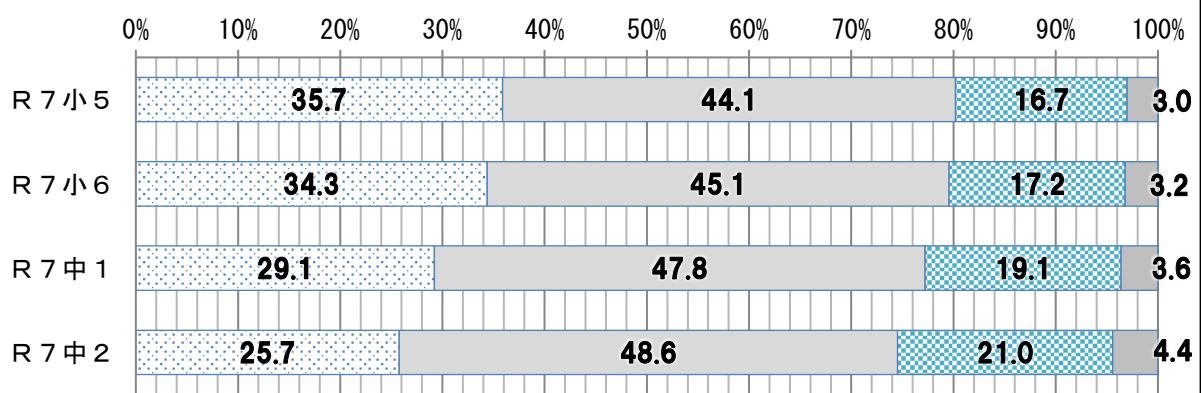
〔質問4〕学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげること（振り返り）ができていると思う。

△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で80%程度であるものの、学年が進むにつれて減少しており同一児童生徒の経年変化も昨年度より減少している。

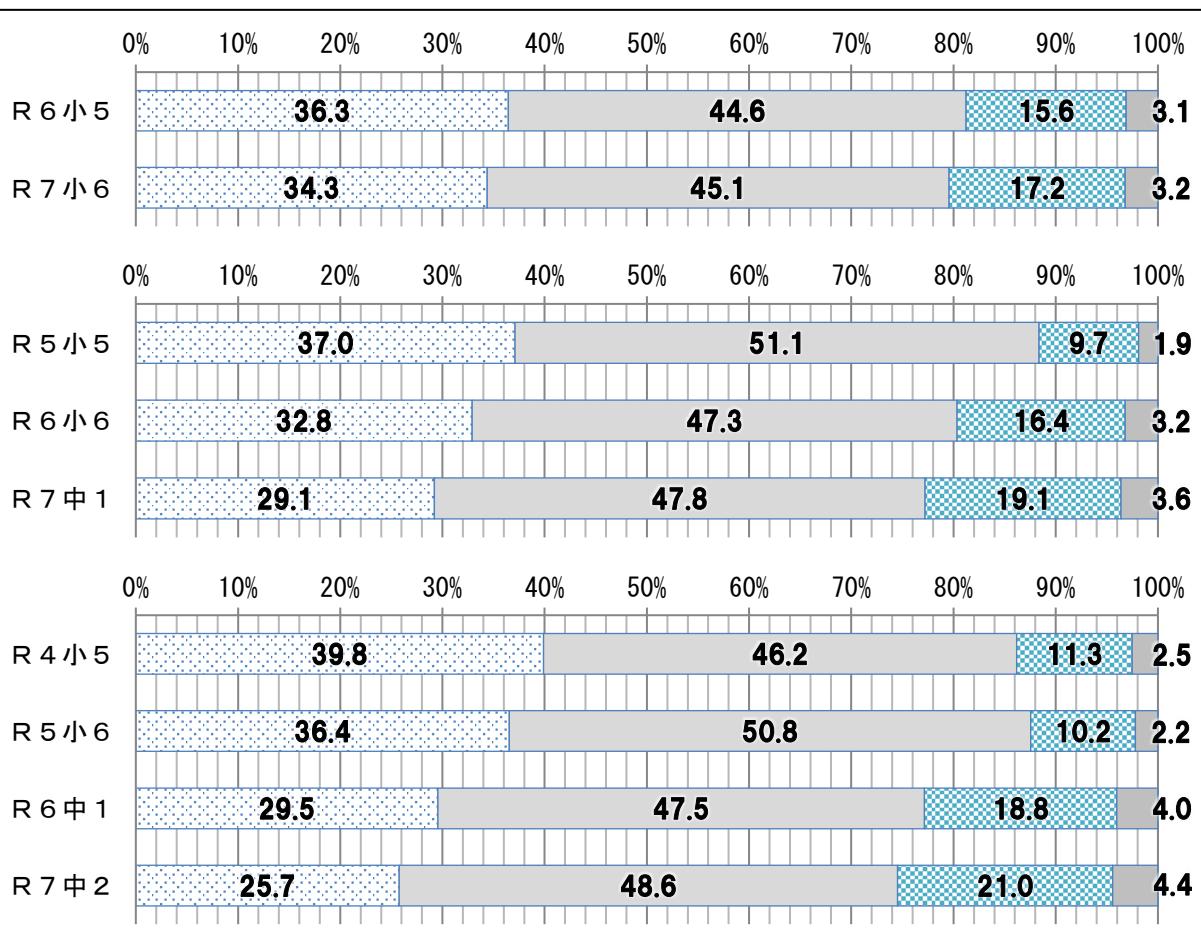
【今年度調査の結果】

4 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげること（振り返り）ができていると思う。

- | | |
|------------------|----------------|
| □当てはまる | □どちらかといえば当てはまる |
| ■どちらかといえば当てはまらない | □当てはまらない |



【同一児童生徒の経年比較】

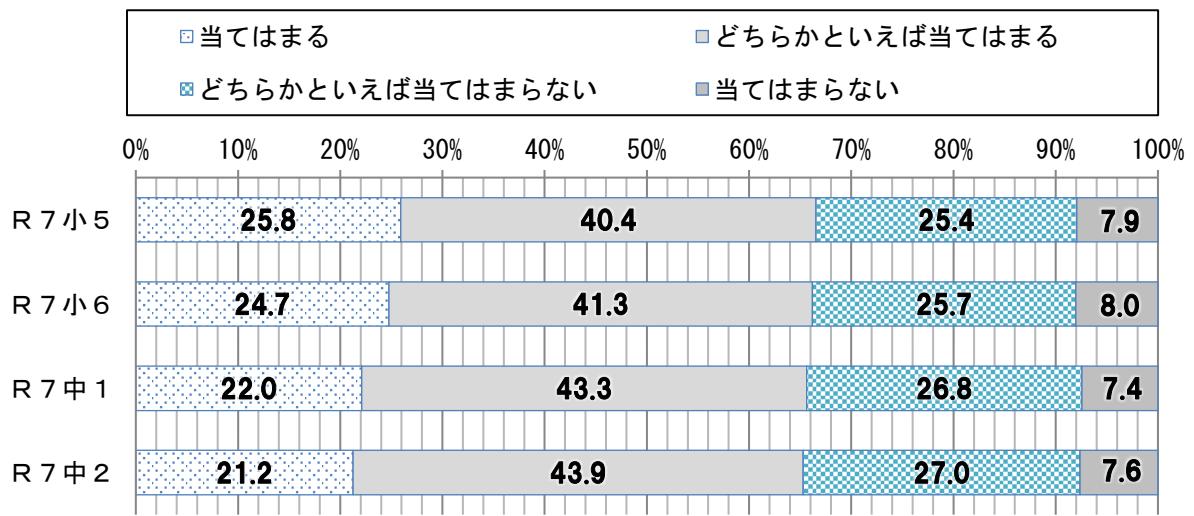


〔質問5〕授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う。

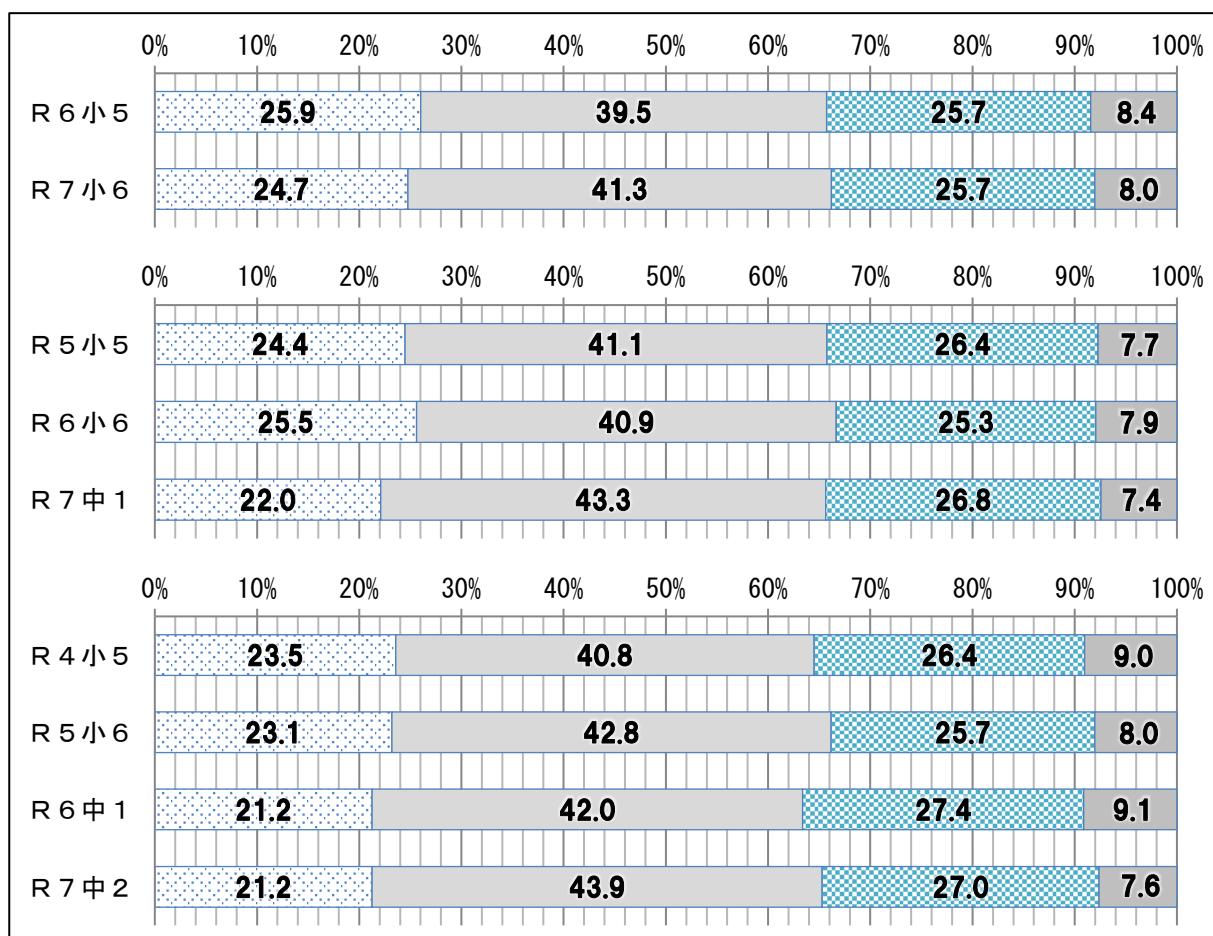
- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で70%未満となっている。

【今年度調査の結果】

5 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う。



【同一児童生徒の経年比較】

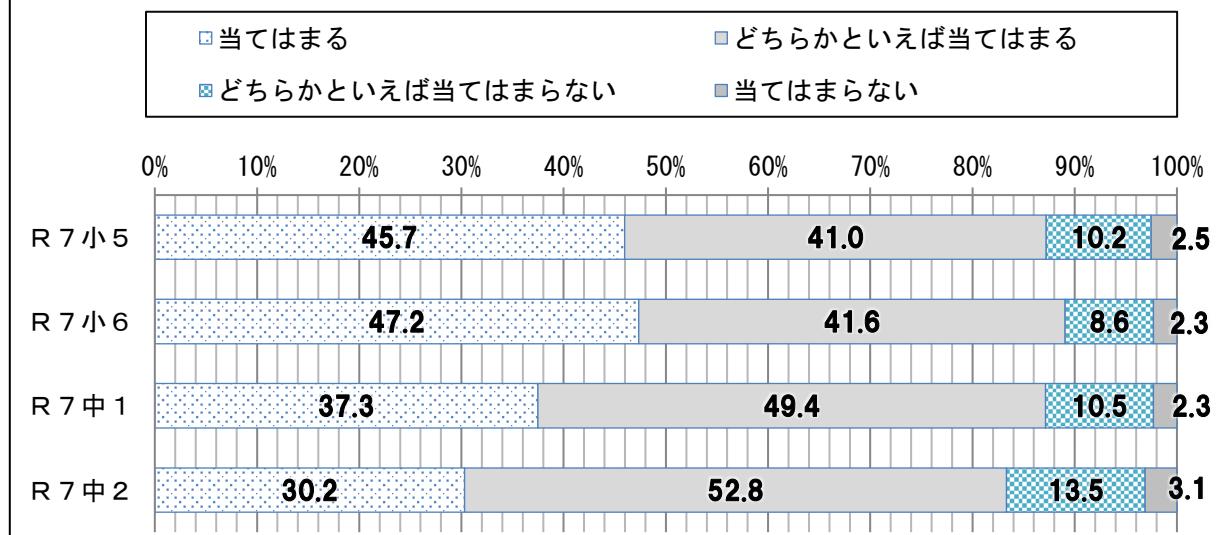


〔質問6〕授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている。

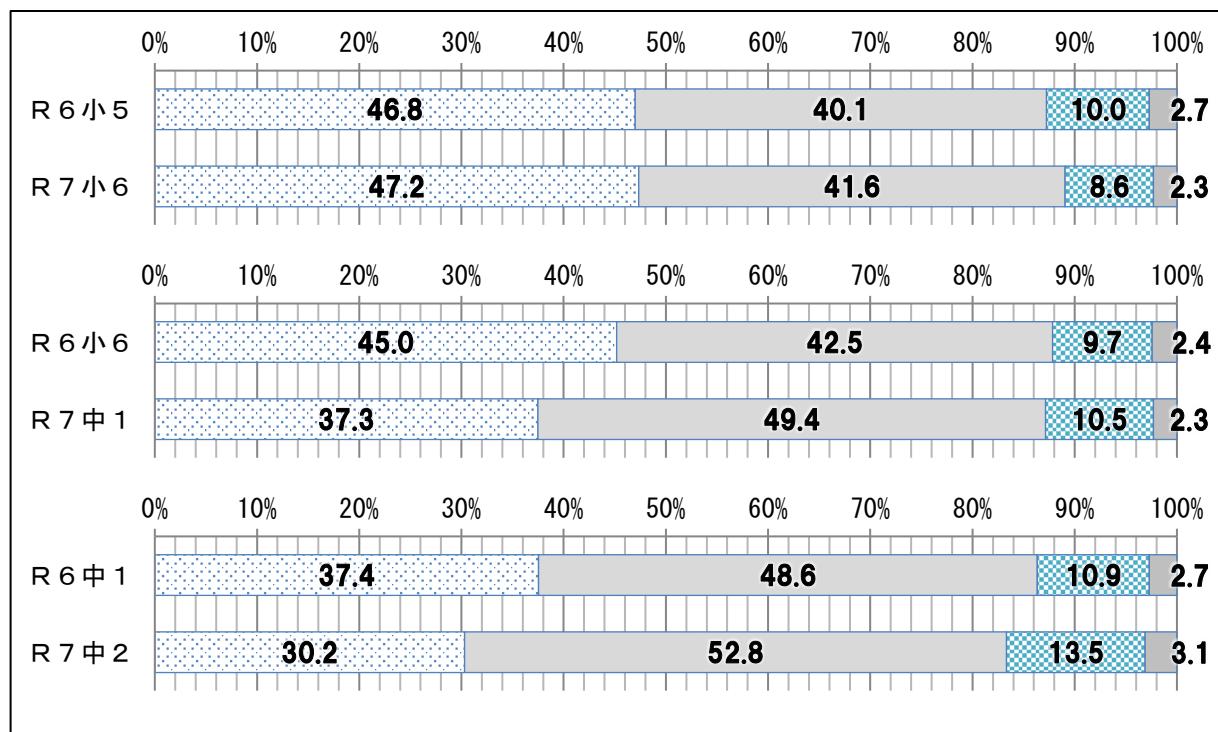
△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で80%を超えているものの、同一児童生徒の経年変化を見ると中1・中2では減少している。

【今年度調査の結果】

6 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている。



【同一児童生徒の経年比較】

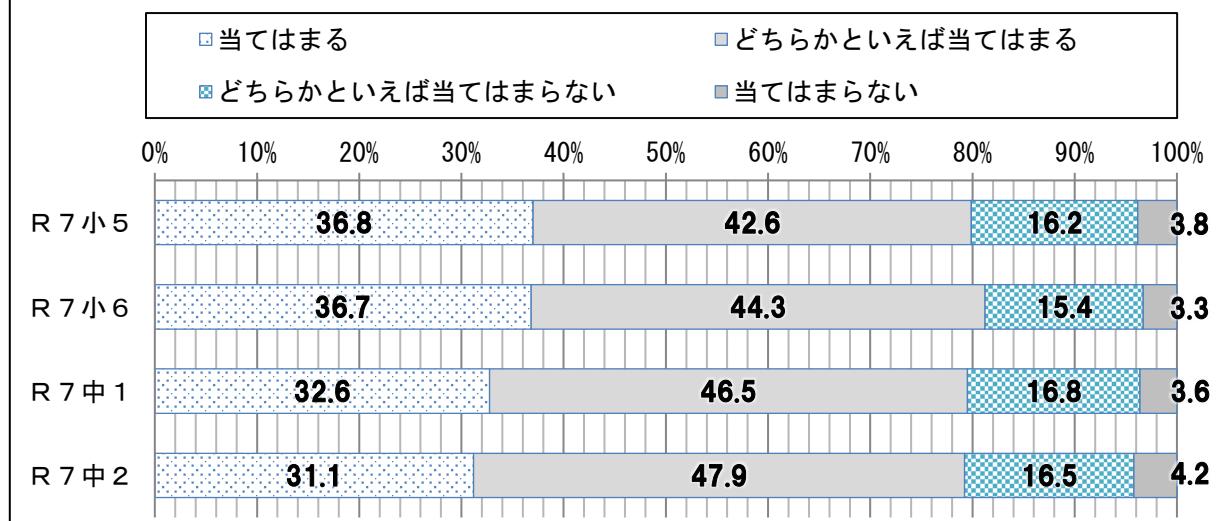


〔質問7〕総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。

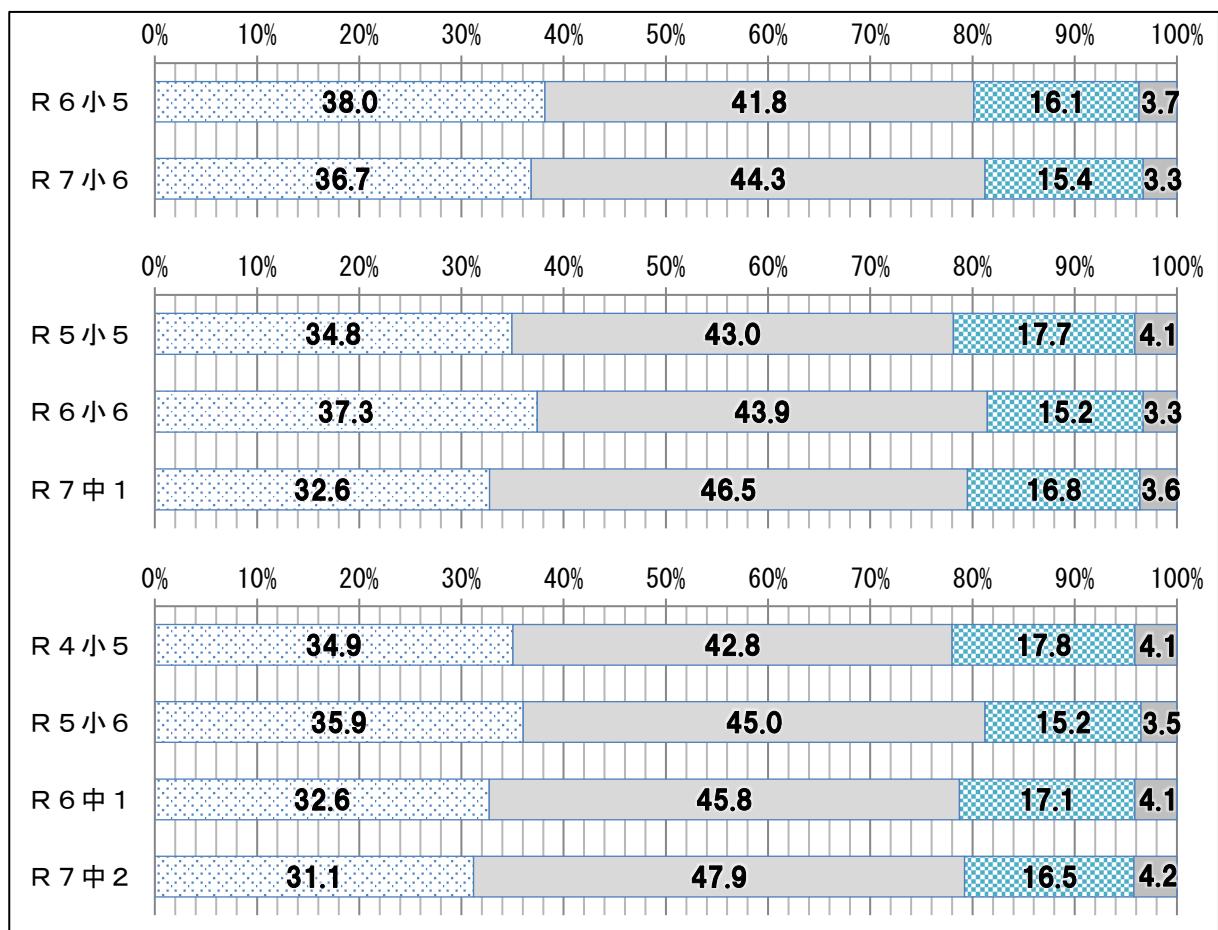
△ 肯定的な回答の割合は全ての学年で80%程度であるものの、「当てはまる」と回答した割合は同一児童生徒の経年変化を見ると昨年度よりも減少している。

【今年度調査の結果】

7 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。



【同一児童生徒の経年比較】

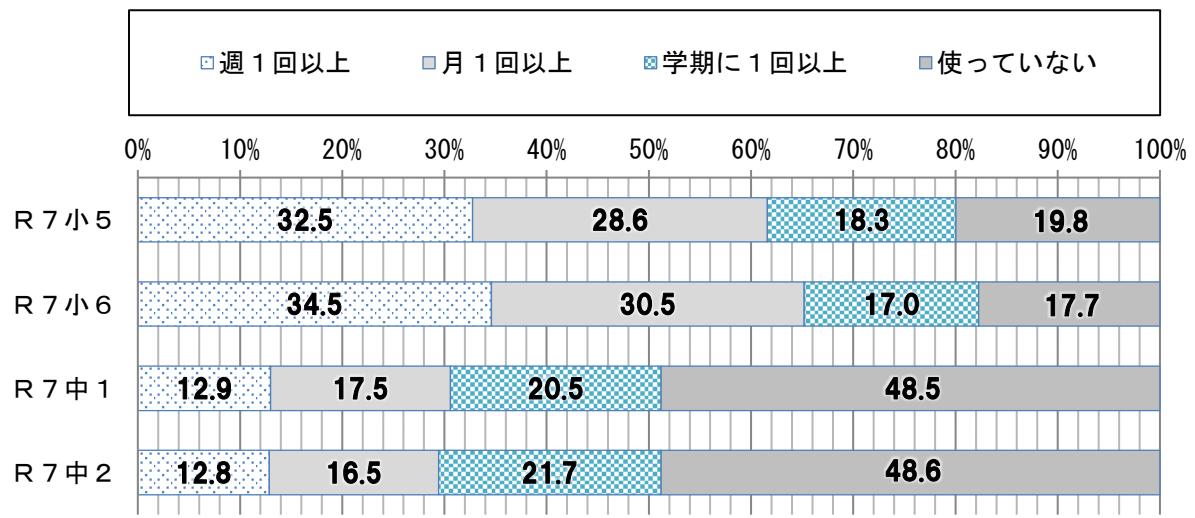


〔質問8〕 やまぐち子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか。

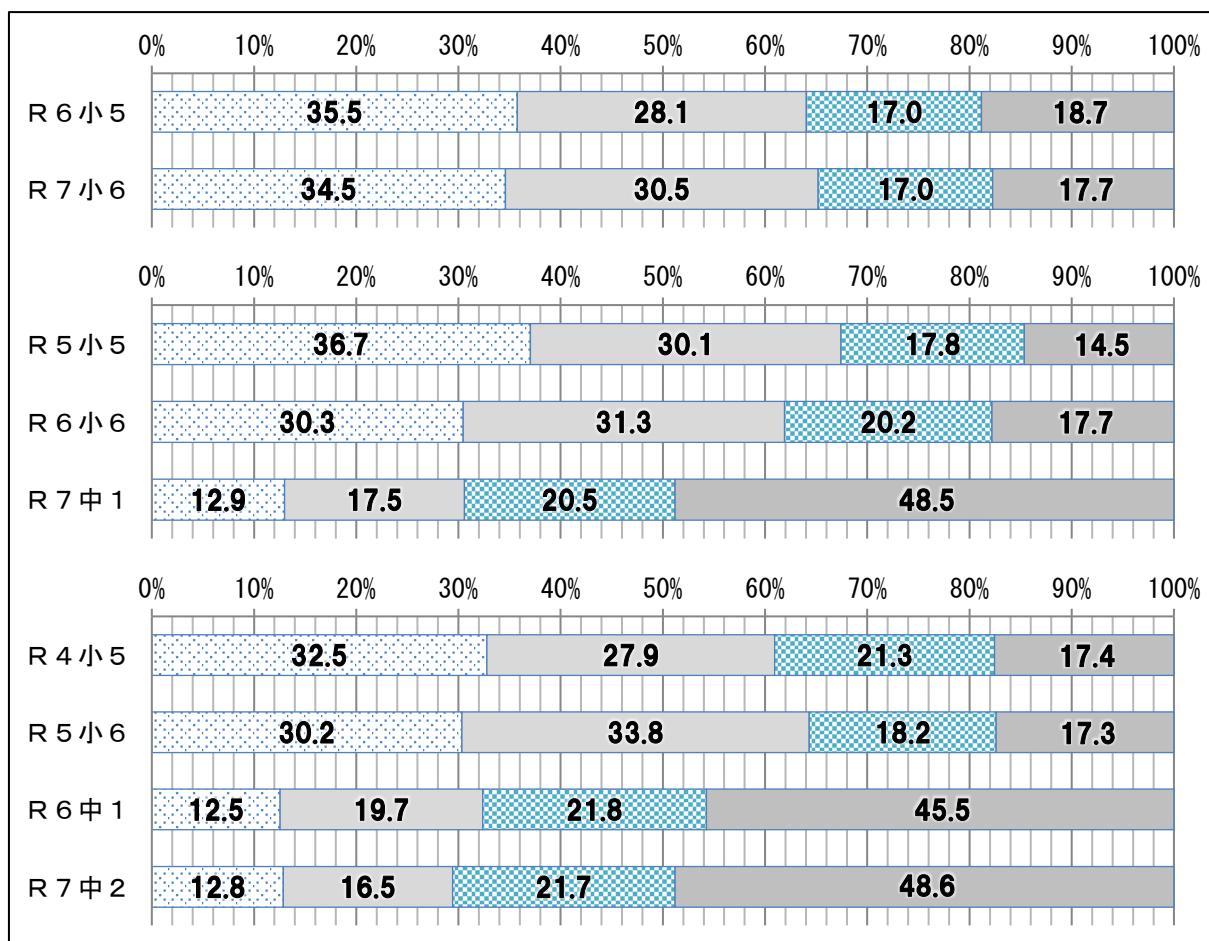
△ 「週1回以上」「月1回以上」と回答した割合は、小5・小6では60%を超えているが、中1・中2では約30%となっている。

【今年度調査の結果】

8 やまぐち子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか。



【同一児童生徒の経年比較】

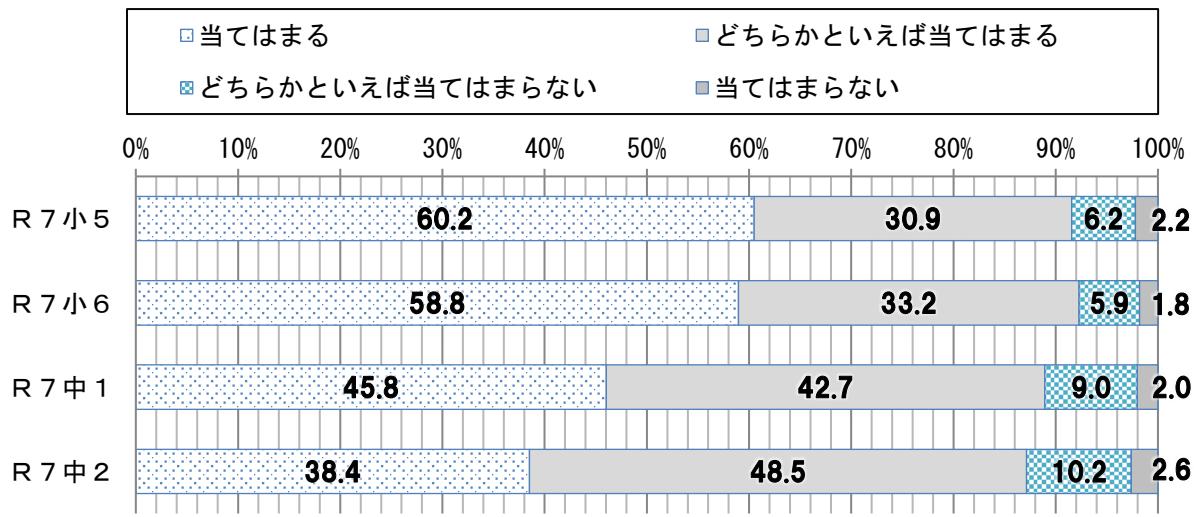


〔質問9〕先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。

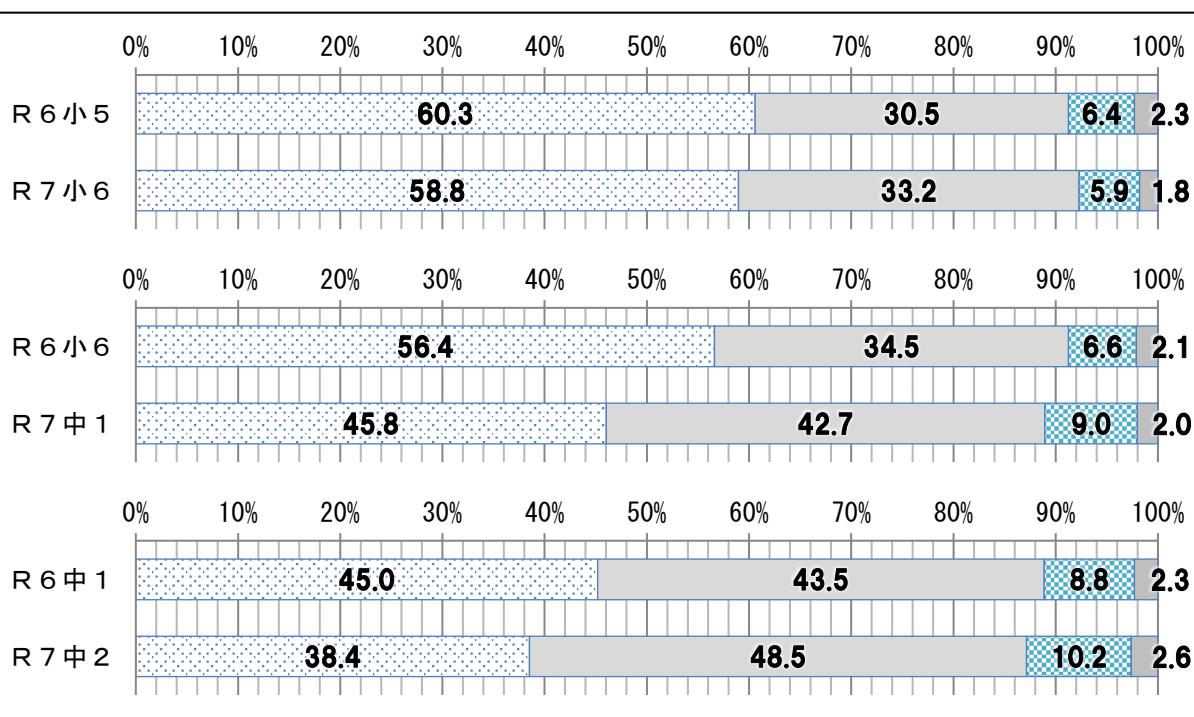
△ 肯定的な回答の割合は全ての学年で90%程度であるものの、「当てはまる」と回答した割合は同一児童生徒の経年変化を見ると昨年度より減少している。

【今年度調査の結果】

9 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。



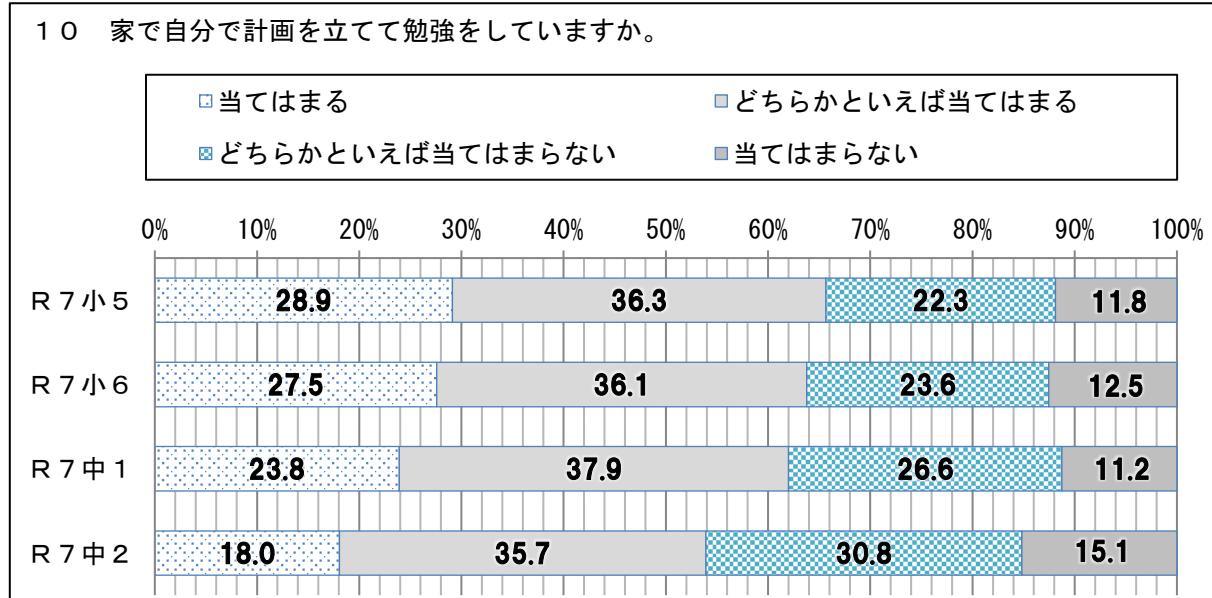
【同一児童生徒の経年比較】



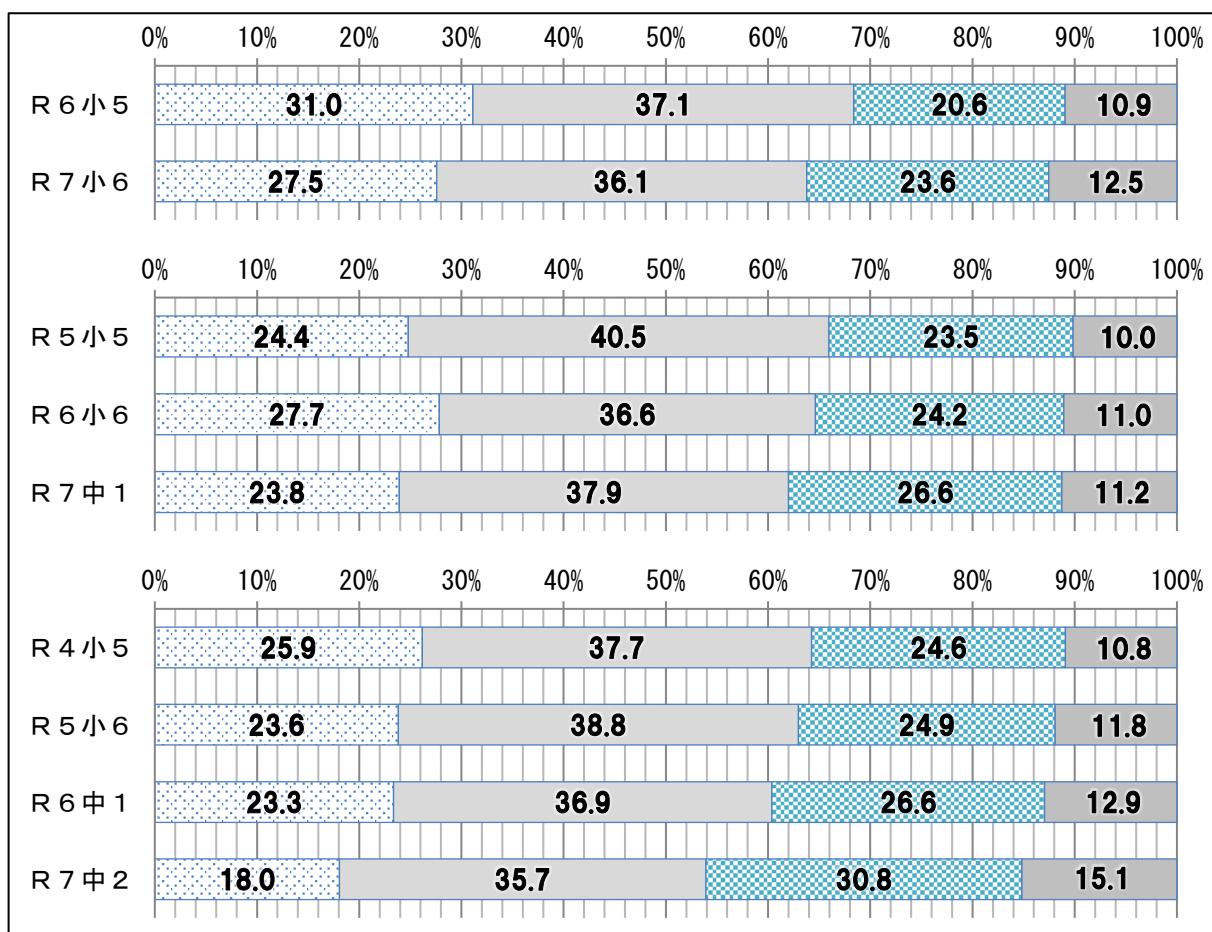
〔質問10〕家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で60%程度であり、同一児童生徒の経年変化を見ても昨年度より減少している。

【今年度調査の結果】



【同一児童生徒の経年比較】

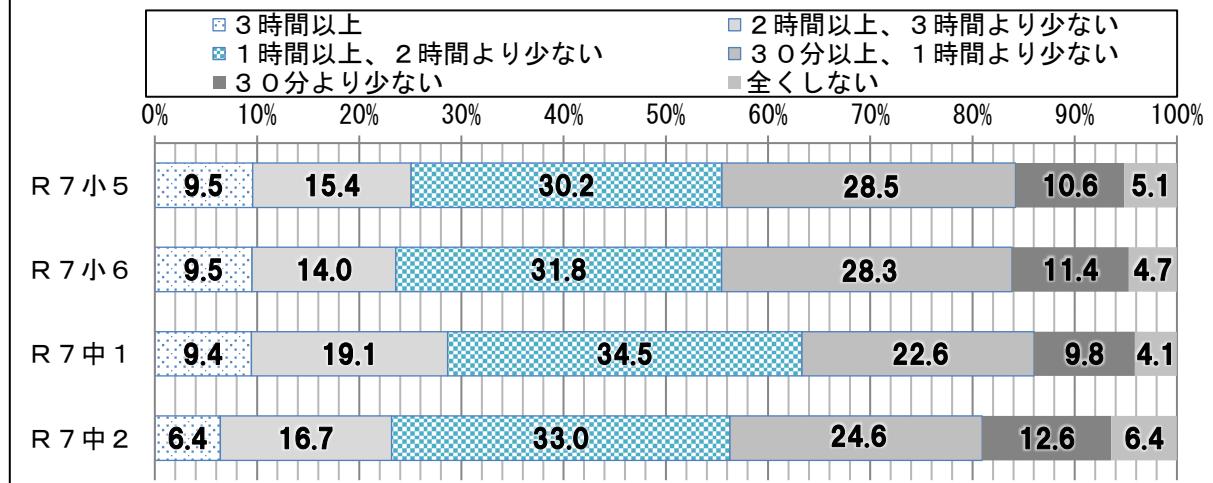


〔質問11〕学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強をしている時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）。

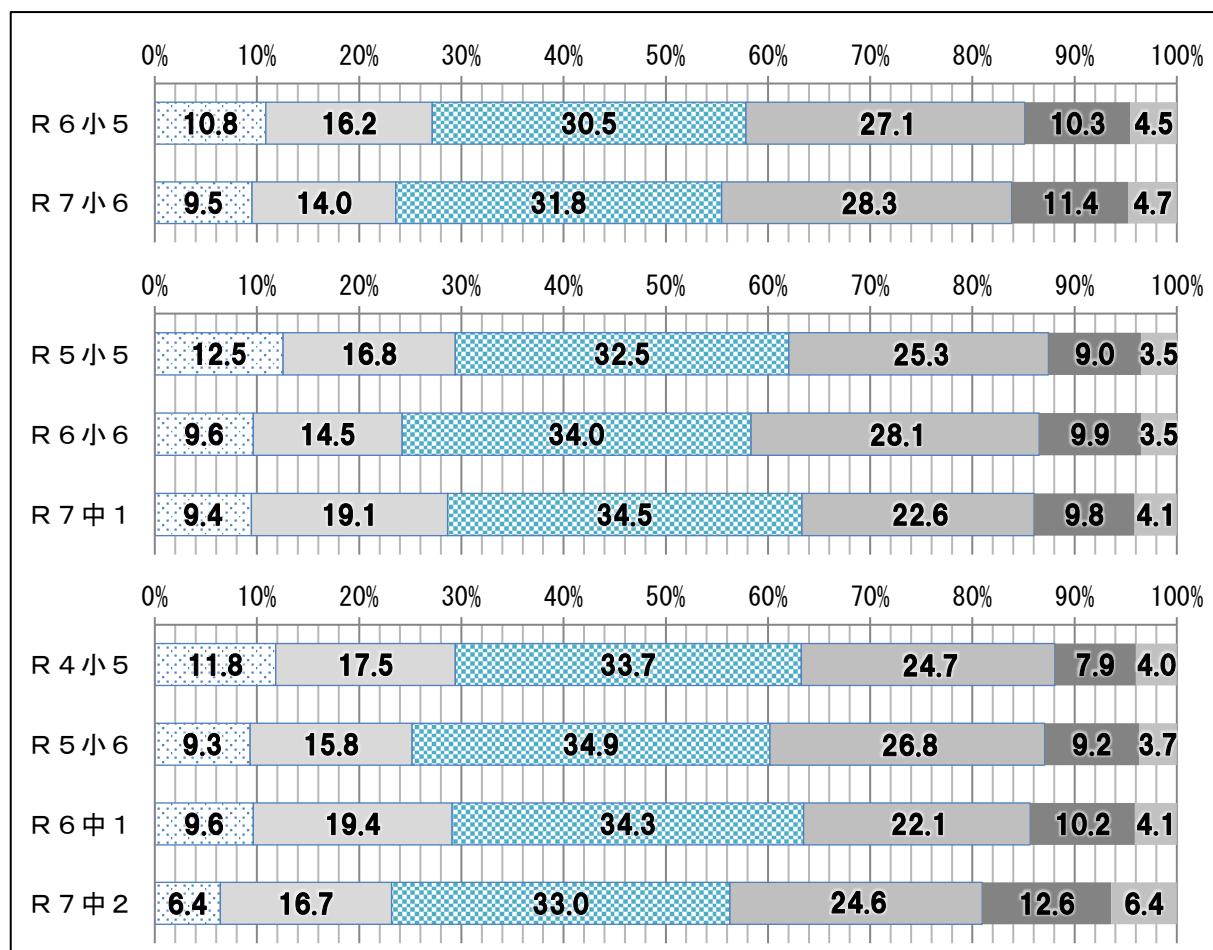
- 同一児童生徒の経年変化を見ると、「30分より少ない」と回答した割合が増加している。

【今年度調査の結果】

11 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強をしている時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）。



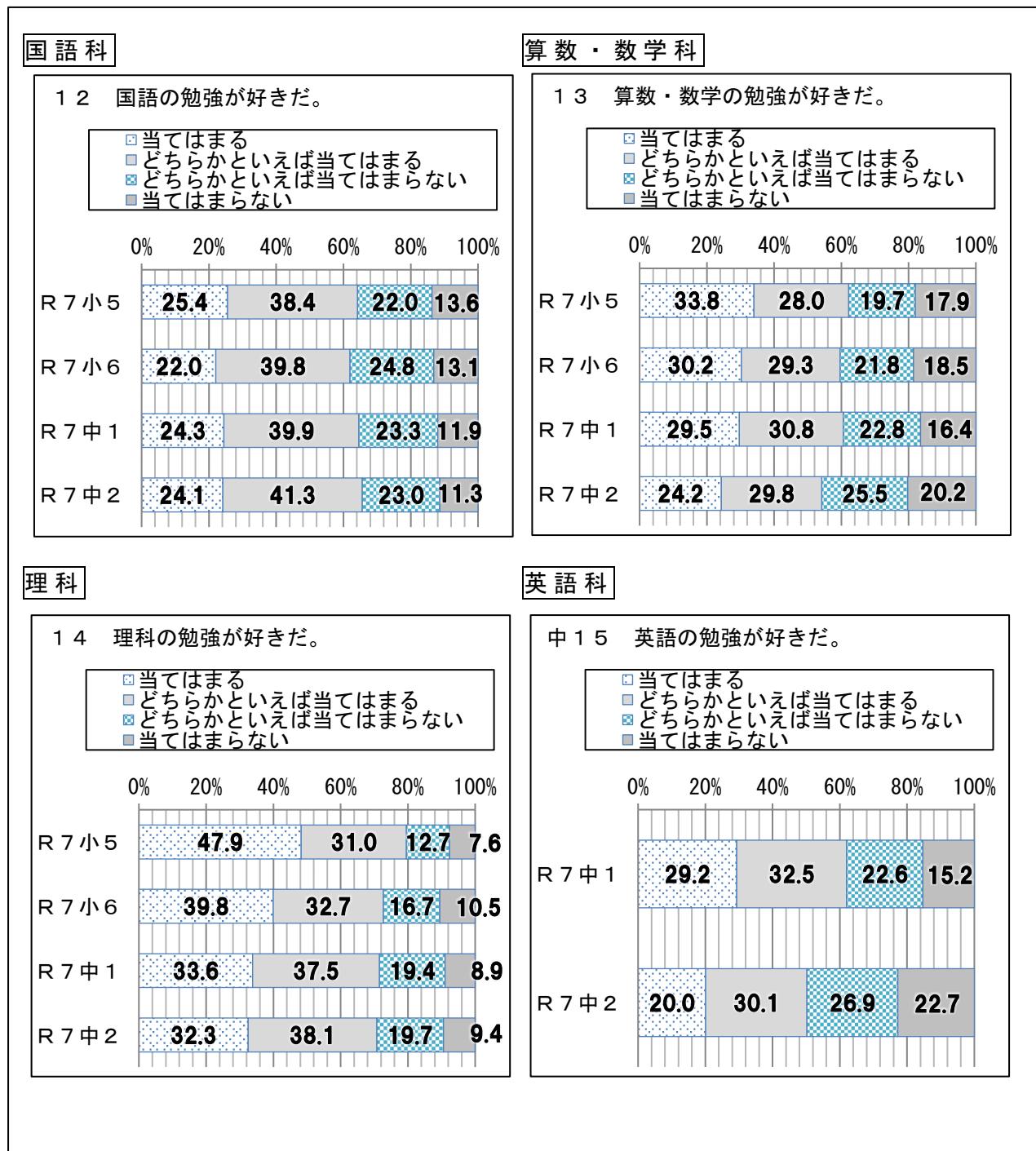
【同一児童生徒の経年比較】



〔小：質問12～14 中：質問12～15〕各教科の勉強が好きだ。

- 国語、算数・数学、英語では、肯定的な回答の割合が60%程度となっている。

【今年度調査の結果】



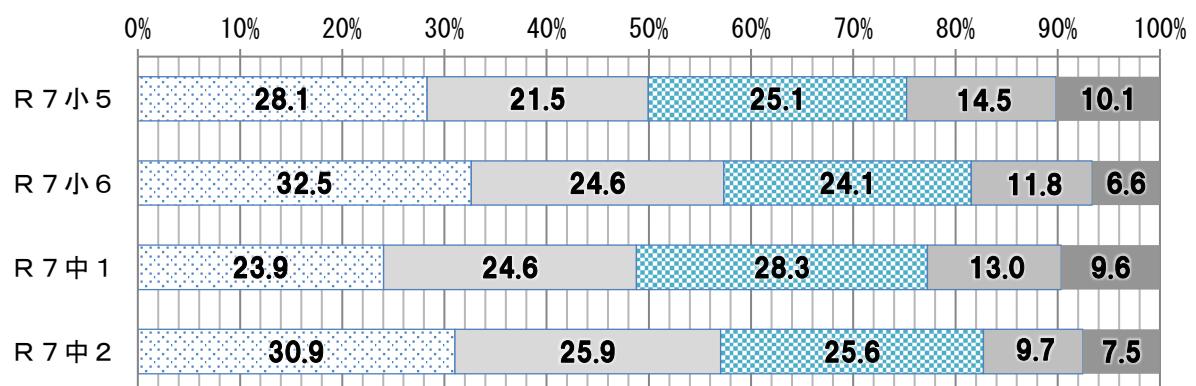
〔小：質問15 中：質問16〕あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、学級の友達と意見を交換する場面で、どの程度使用していますか。

- 今年度調査の結果でも同一児童生徒の経年変化でも、「ほぼ毎日」と回答した割合は小5よりも小6、中1よりも中2の方が大きくなっている。

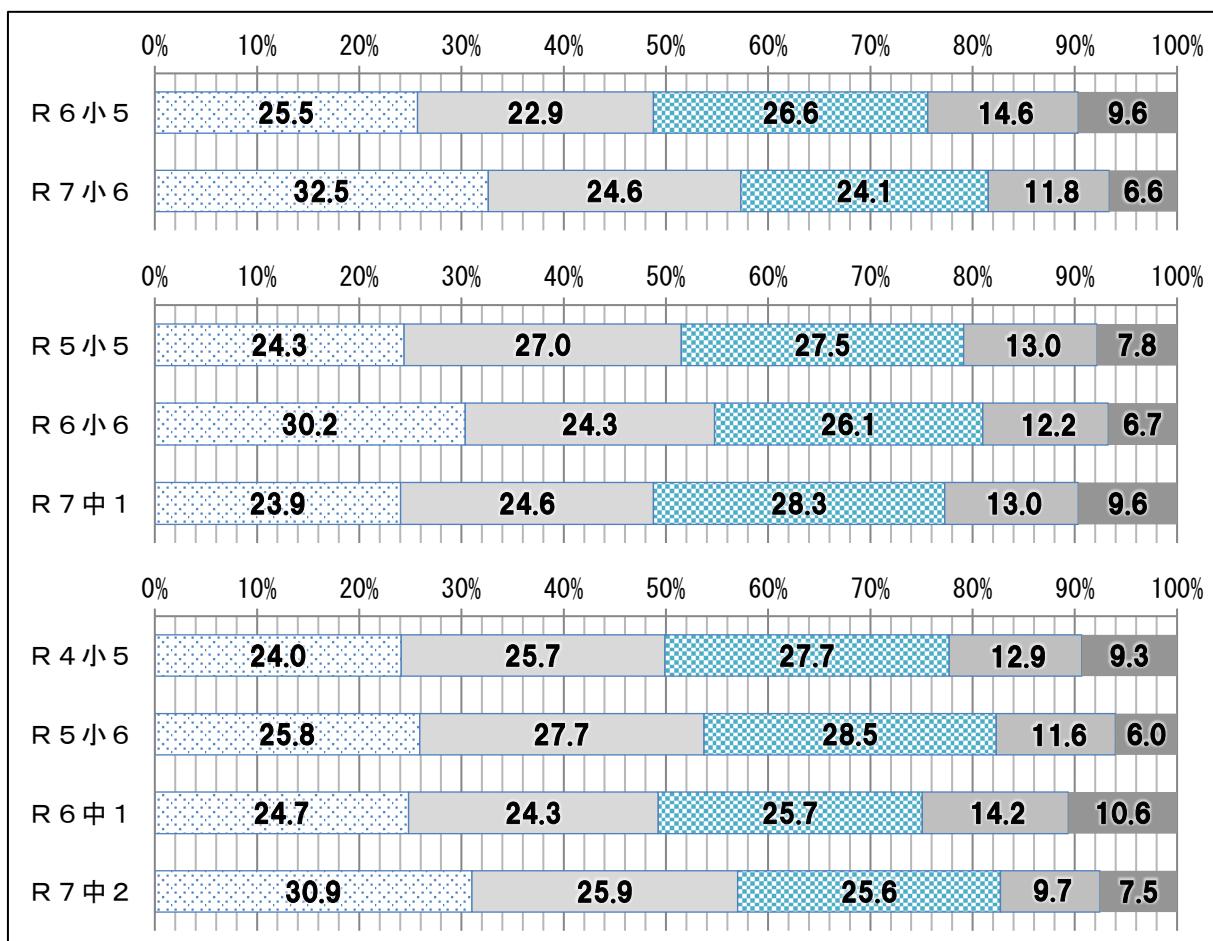
【今年度調査の結果】

小15 中16 あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、学級の友達と意見を交換する場面で、どの程度使用していますか。

□ ほぼ毎日 □ 週3回以上 □ 週1回以上 □ 月1回以上 □ 月1回未満



【同一児童生徒の経年比較】

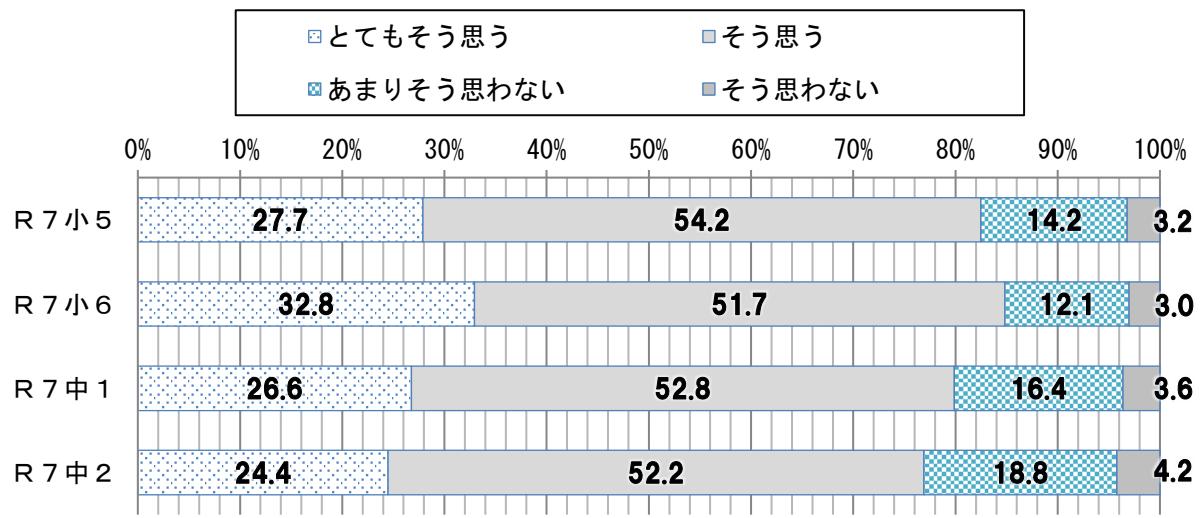


〔小：質問16 中：質問17〕ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。

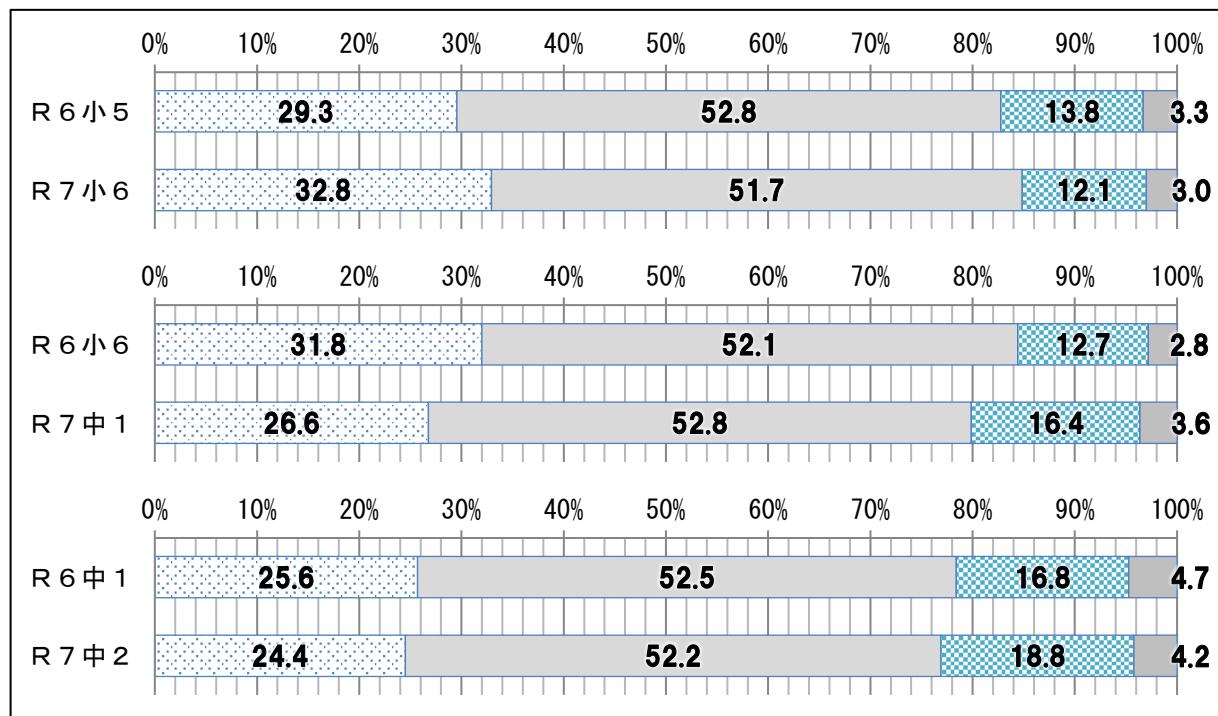
△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で80%程度であるものの、同一児童生徒の経年変化を見ると中1・中2では昨年度より減少している。

【今年度調査の結果】

小16 中17 ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。



【同一児童生徒の経年比較】

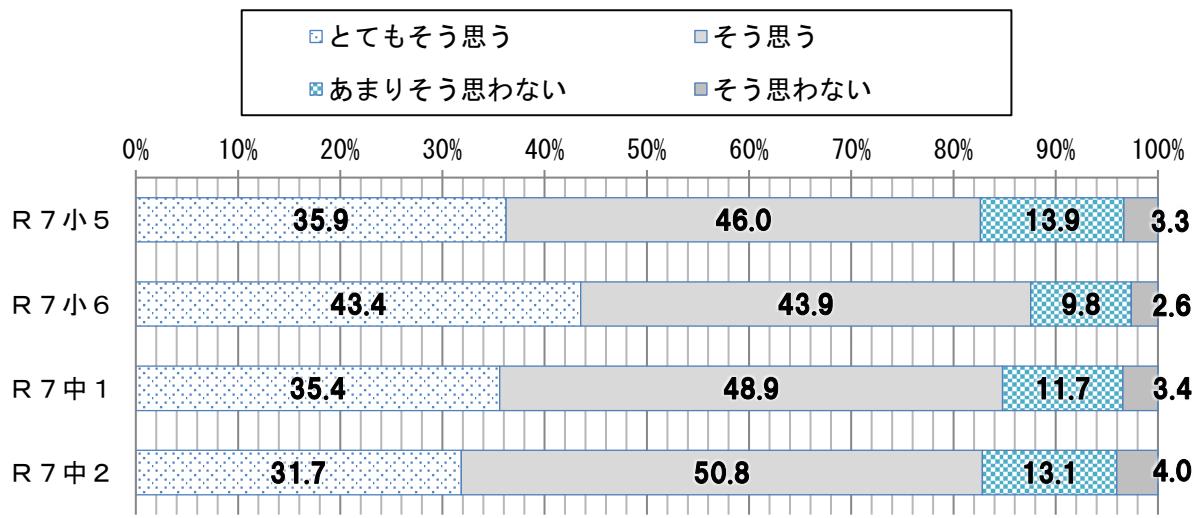


〔小：質問17 中：質問18〕ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。

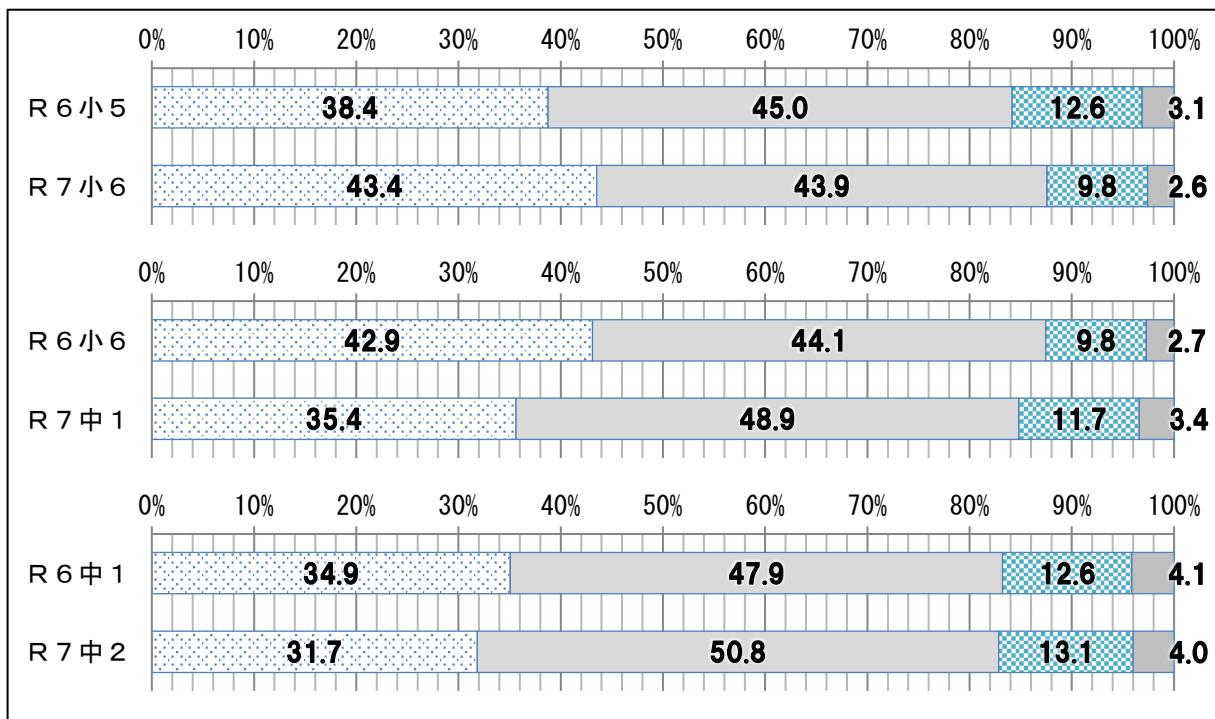
△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で80%を超えており、同一児童生徒の経年変化を見ると中1・中2では昨年度より減少している。

【今年度調査の結果】

小17 中18 ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。



【同一児童生徒の経年比較】

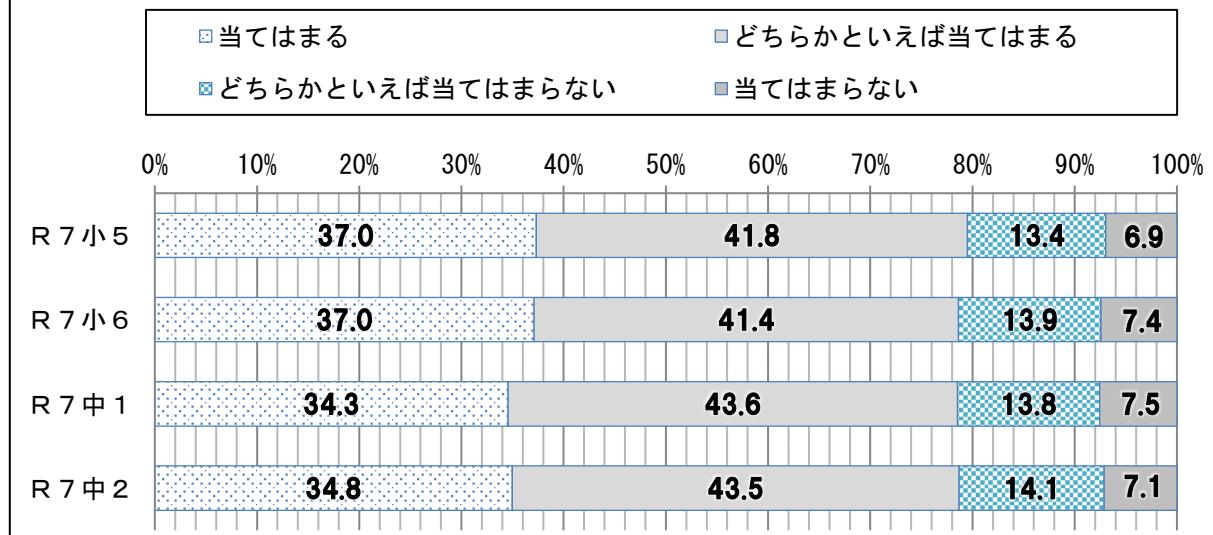


[小：質問18 中：質問19] 自分には、よいところがあると思う。

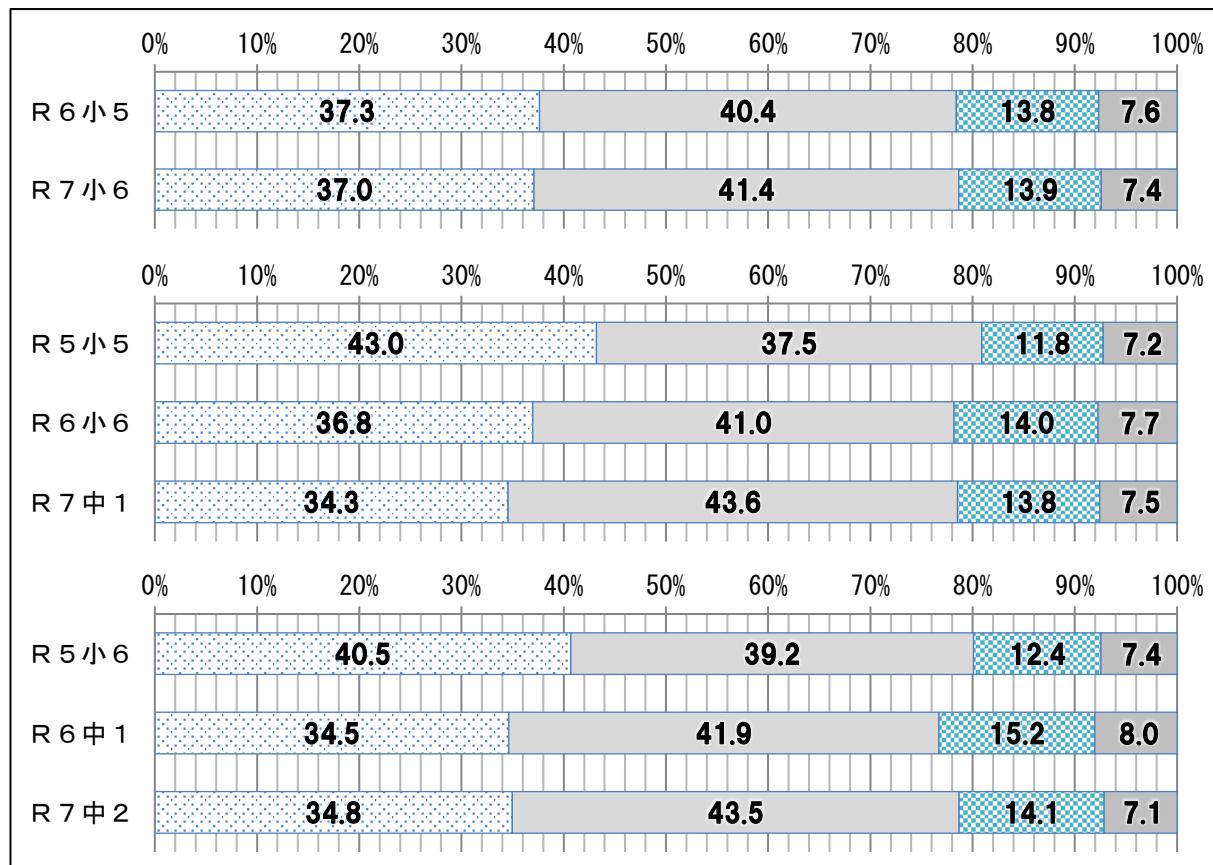
△ 肯定的な回答の割合は全ての学年で80%程度であるものの、「当てはまる」と回答した割合は30%台に留まっている。

【今年度調査の結果】

小18 中19 自分には、よいところがあると思う。



【同一児童生徒の経年比較】

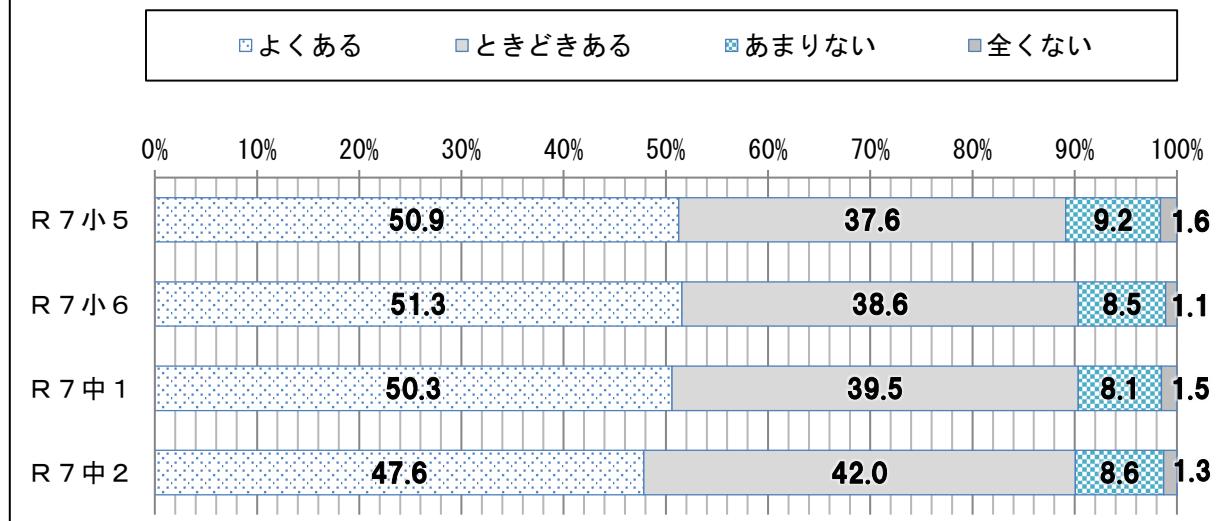


〔小：質問19 中：質問20〕普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

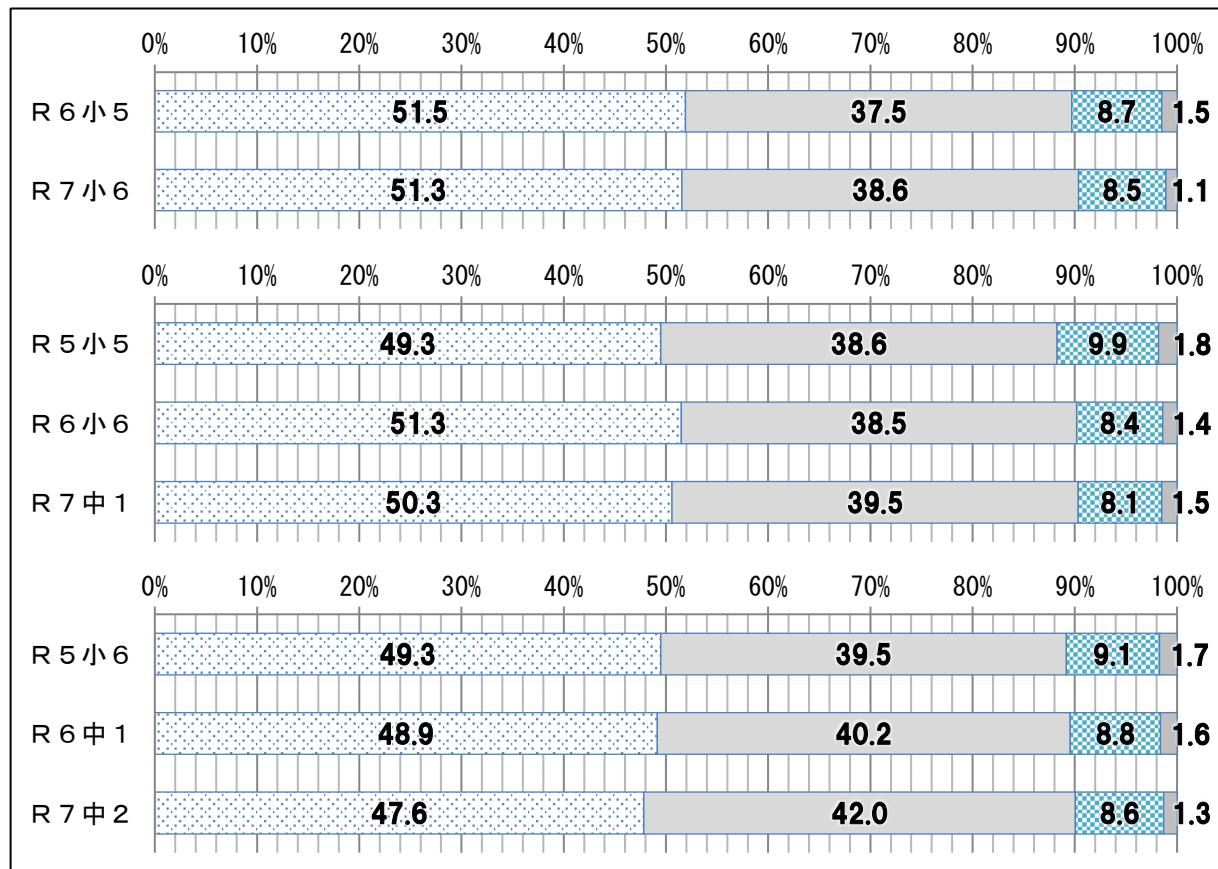
- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で90%程度となっている。

【今年度調査の結果】

小19 中20 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。



【同一児童生徒の経年比較】

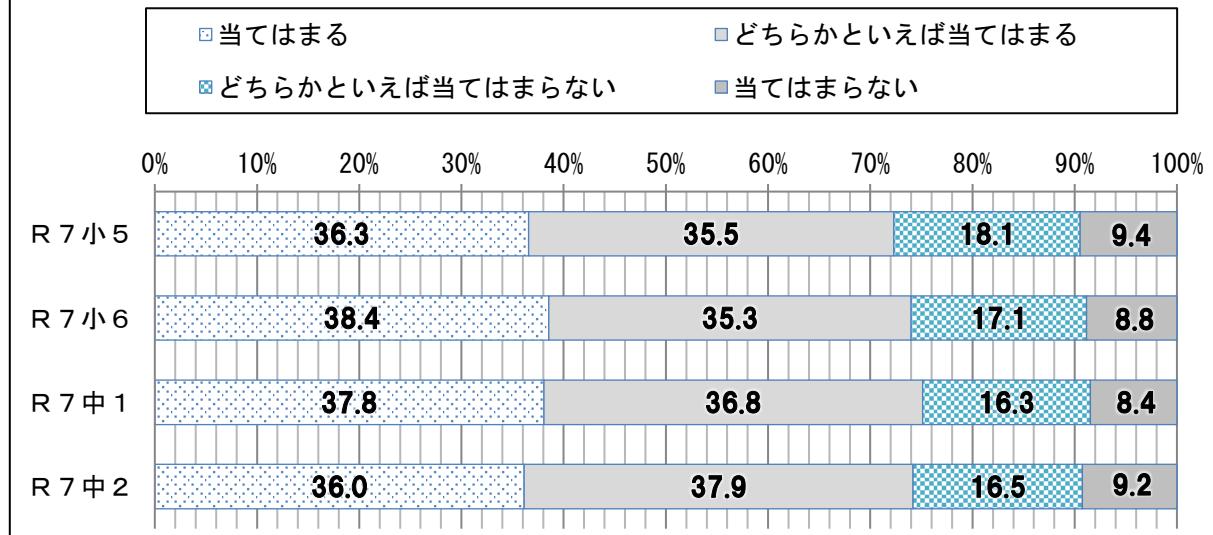


[小: 質問20 中: 質問21] 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。

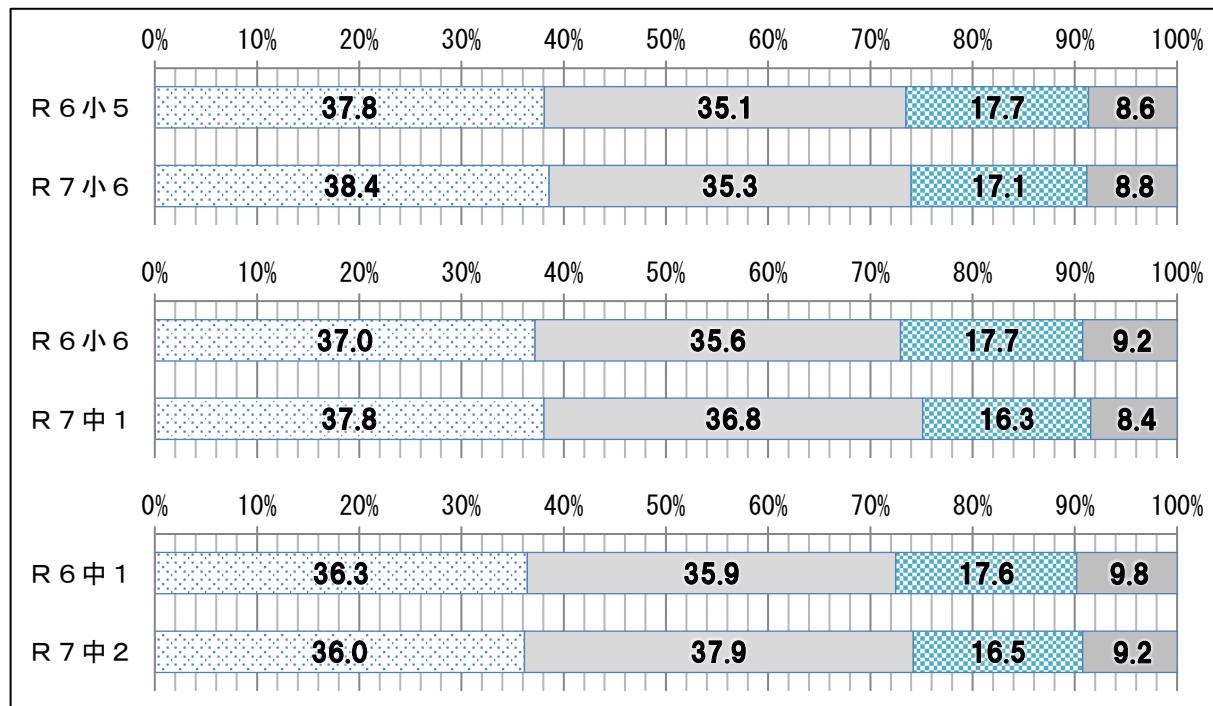
△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で70%台にとどまっているものの、同一児童生徒の経年変化を見ると昨年度より増加している。

【今年度調査の結果】

小20 中21 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。



【同一児童生徒の経年比較】



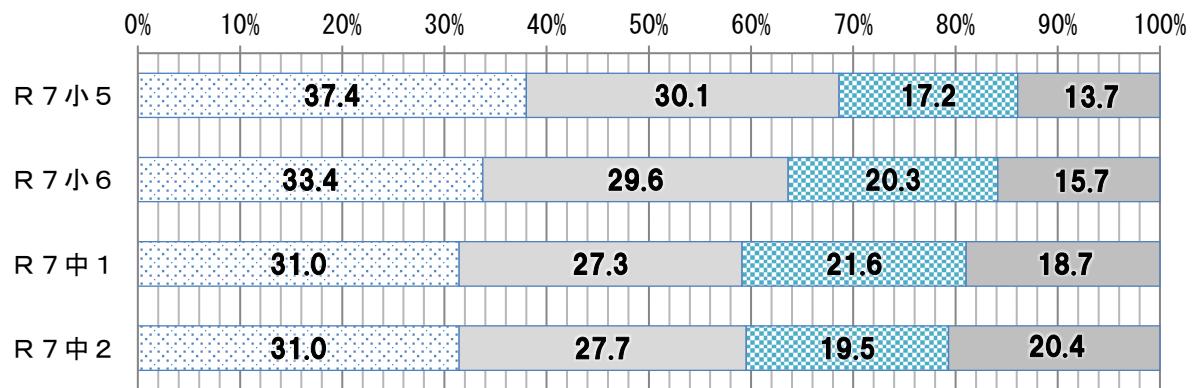
〔小：質問21 中：質問22〕 読書は好きですか。

- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で70%未満であり、同一児童生徒の経年変化を見ても昨年度より減少している。

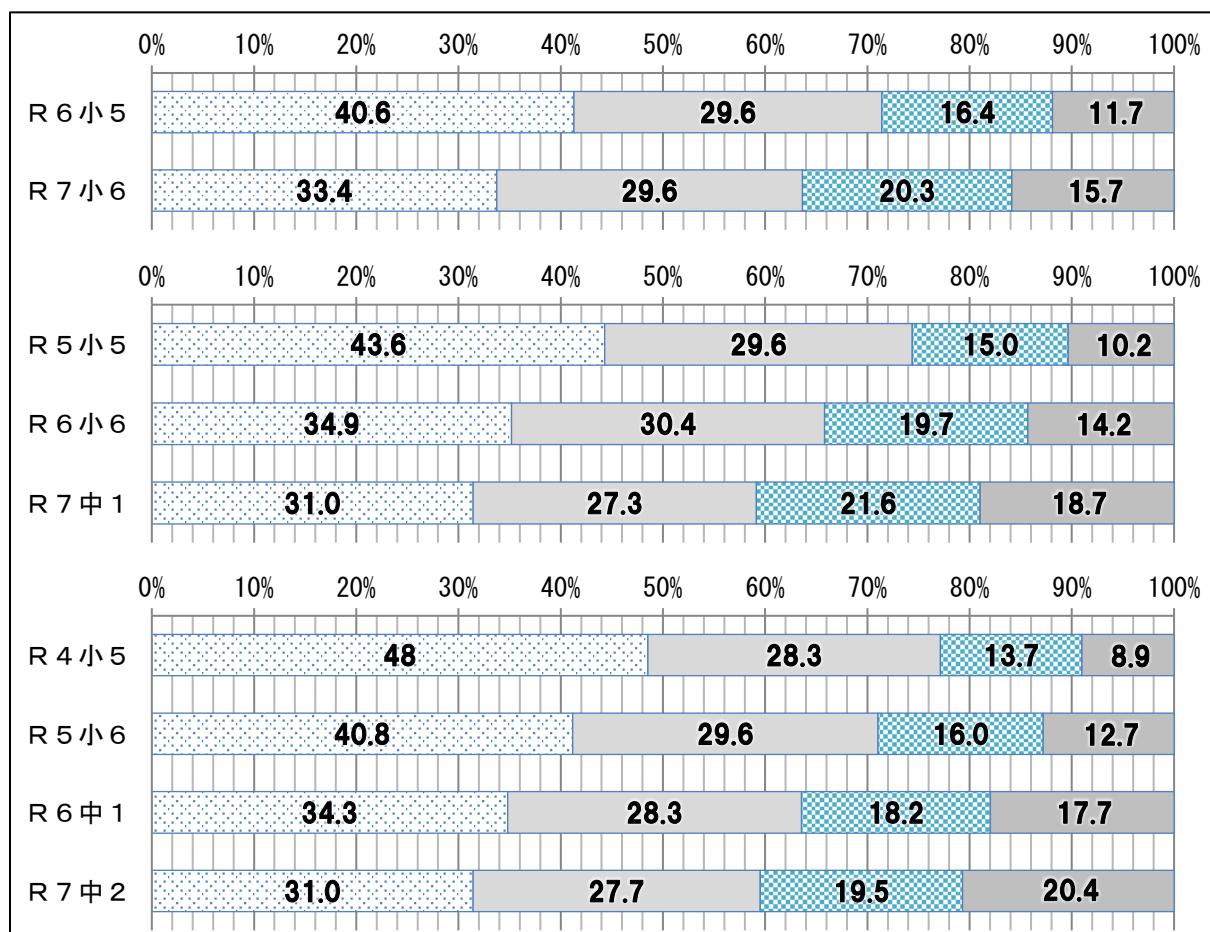
【今年度調査の結果】

小21 中22 読書は好きですか。

- | □当てはまる | □どちらかといえば当てはまる | □どちらかといえば当てはまらない | □当てはまらない |
|--------|----------------|------------------|----------|
|--------|----------------|------------------|----------|



【同一児童生徒の経年比較】

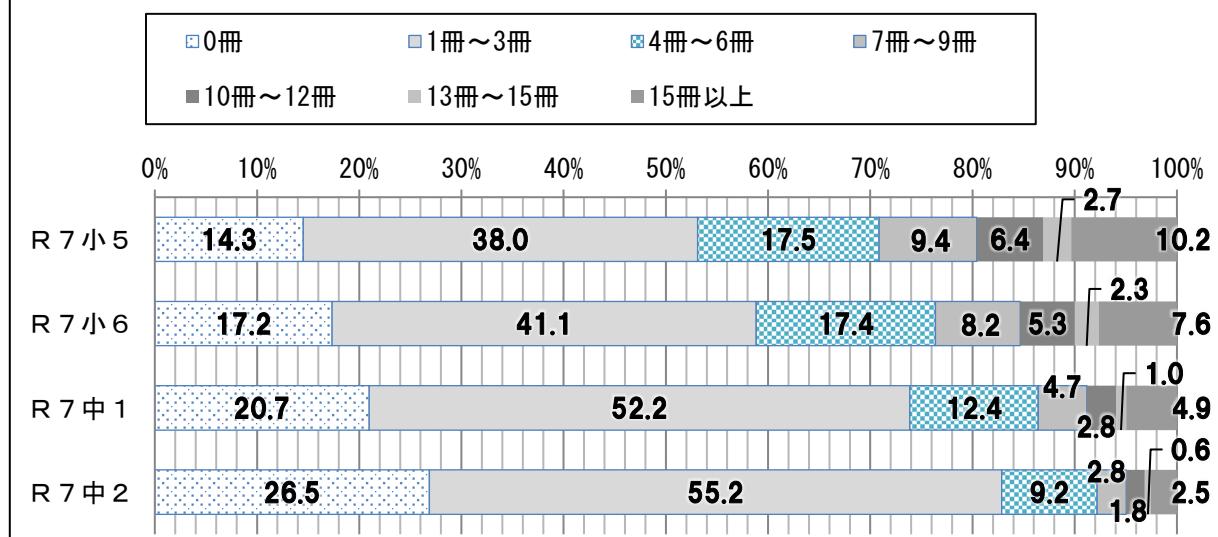


〔小：質問22 中：質問23〕1ヶ月に本（漫画を除く）を何冊ぐらい読みますか。

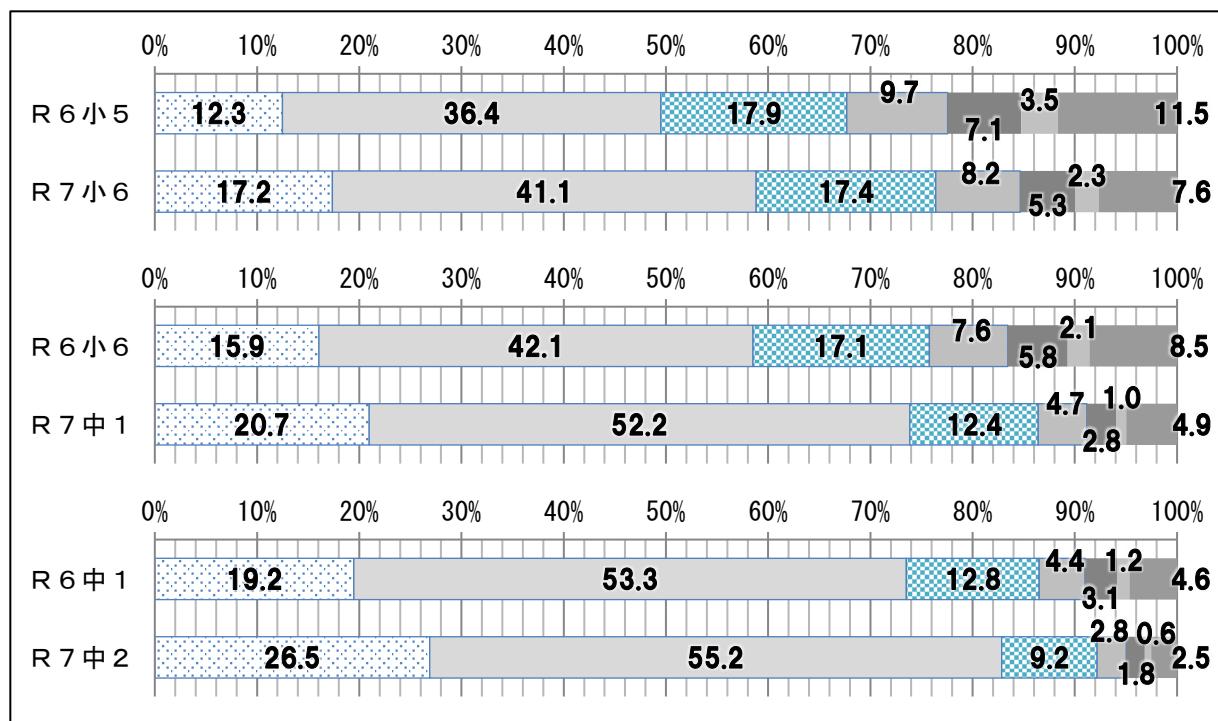
- 「0冊」「1冊～3冊」と回答した割合は、全ての学年で50%を超えしており、学年が進むにつれて増加している。

【今年度調査の結果】

小22 中23 1ヶ月に本（漫画を除く）を何冊ぐらい読みますか。



【同一児童生徒の経年比較】

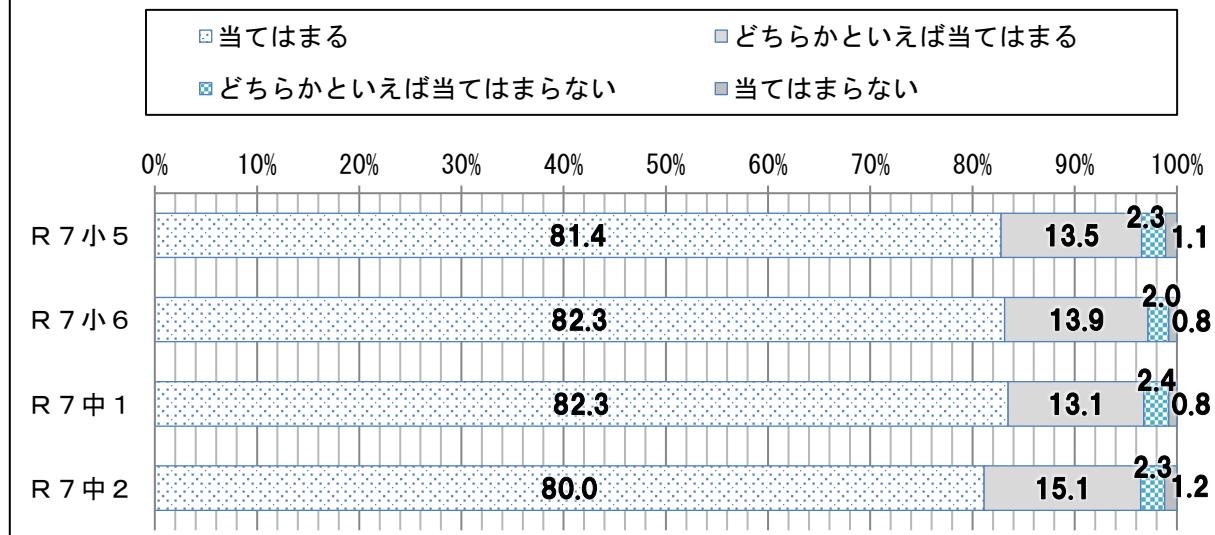


〔小：質問23 中：質問24〕 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

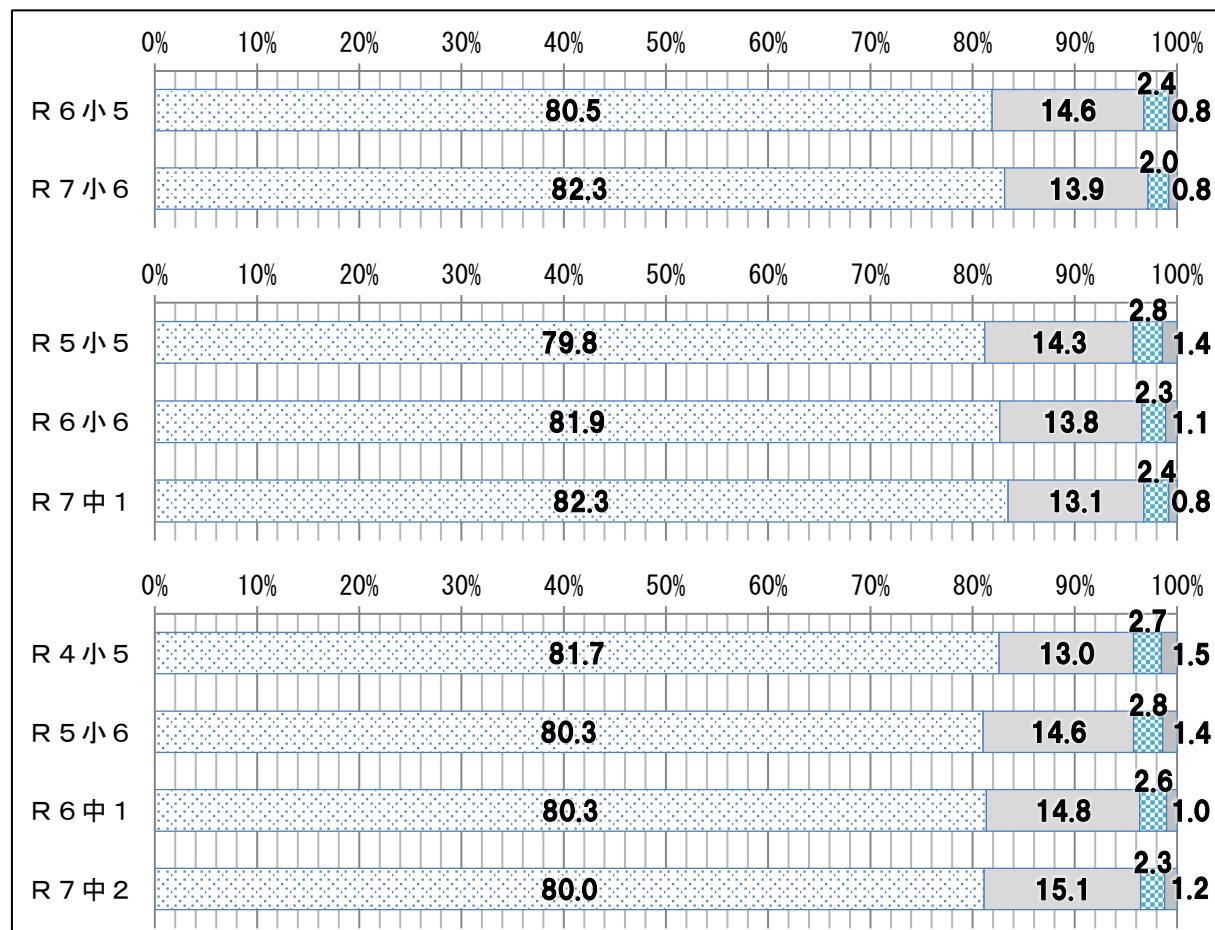
△ 肯定的な回答の割合は全ての学年で95%を超えており、否定的な回答もある。

【今年度調査の結果】

小23 中24 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。



【同一児童生徒の経年比較】

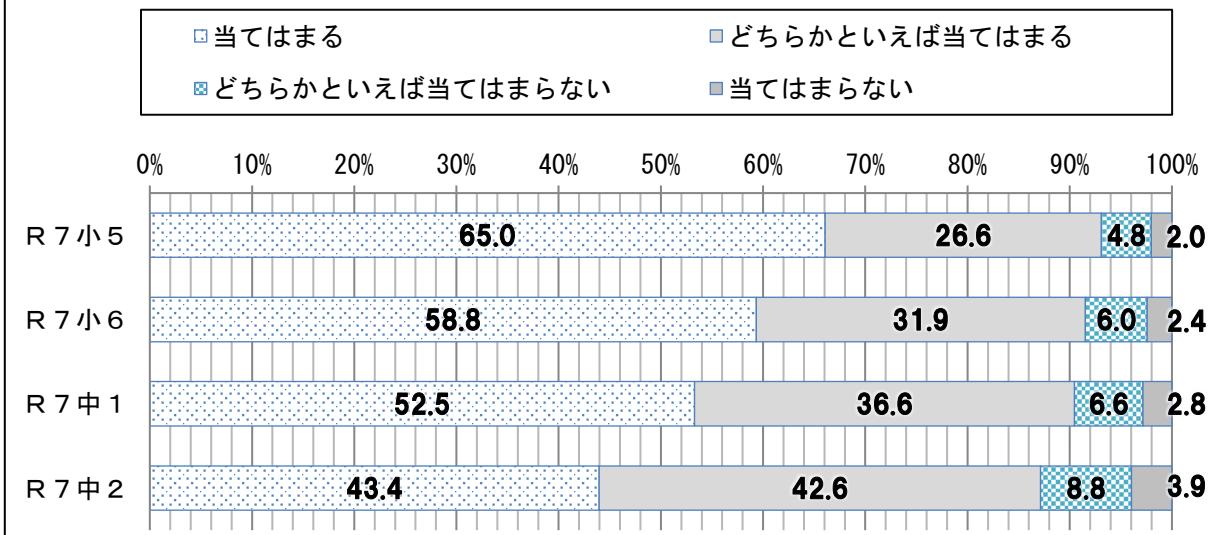


〔小：質問24 中：質問25〕今住んでいる地域のことが好きですか。

△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で90%程度であるものの、学年が進むにつれて減少している。

【今年度調査の結果】

小24 中25 (新) 今住んでいる地域のことが好きですか。

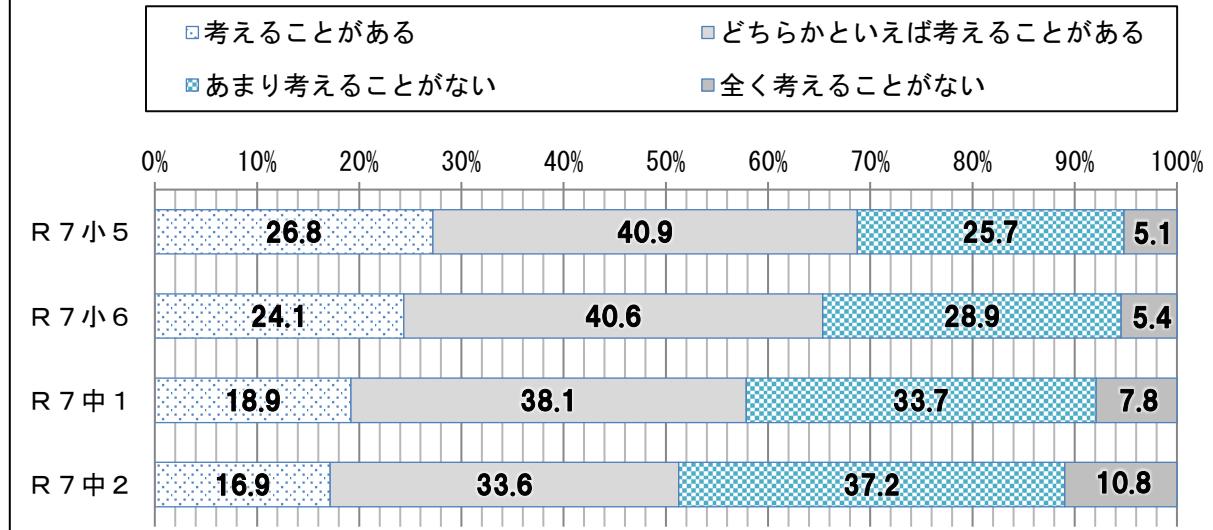


〔小：質問25 中：質問26〕 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

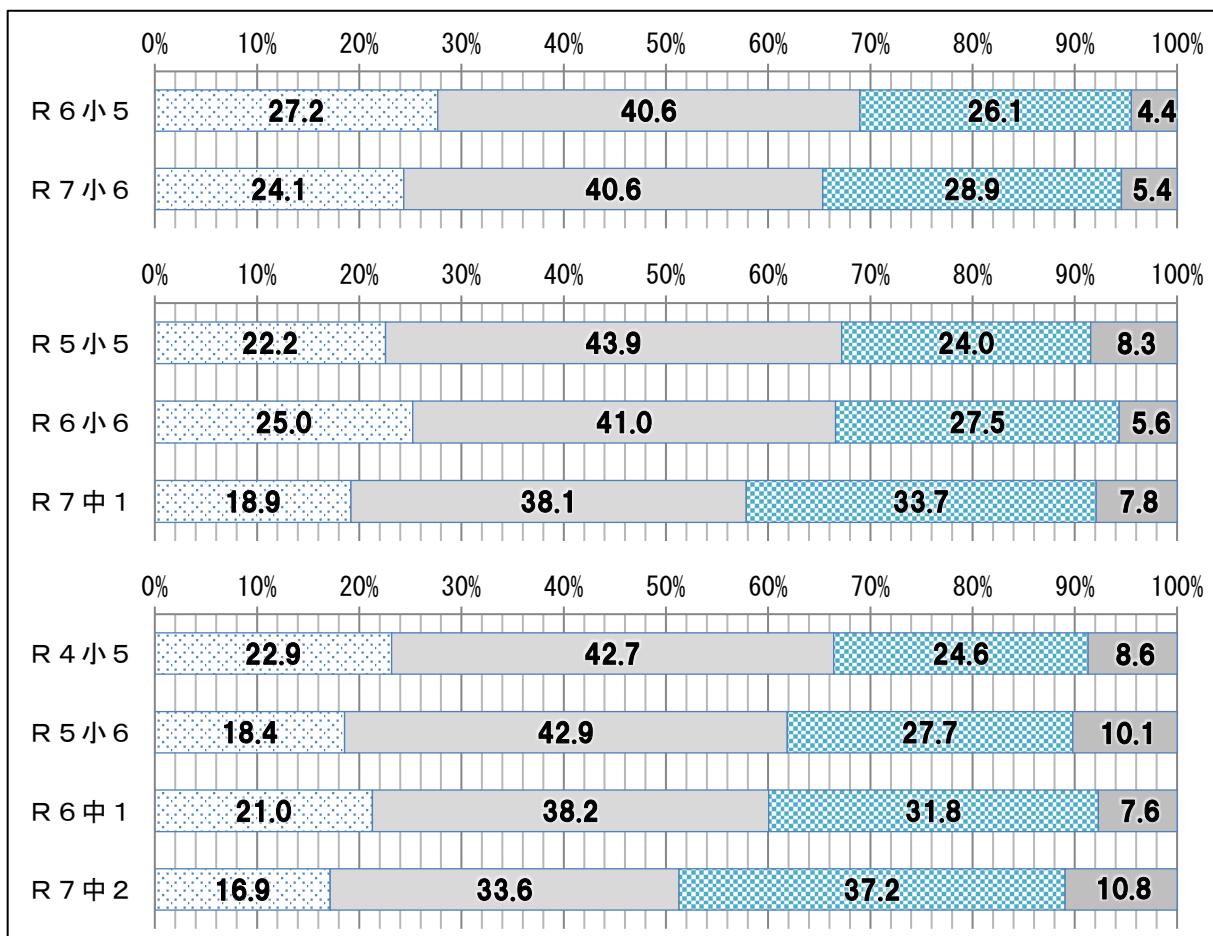
- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で70%未満であり、学年が進むにつれて減少している。

【今年度調査の結果】

小25 中26 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができますか。



【同一児童生徒の経年比較】

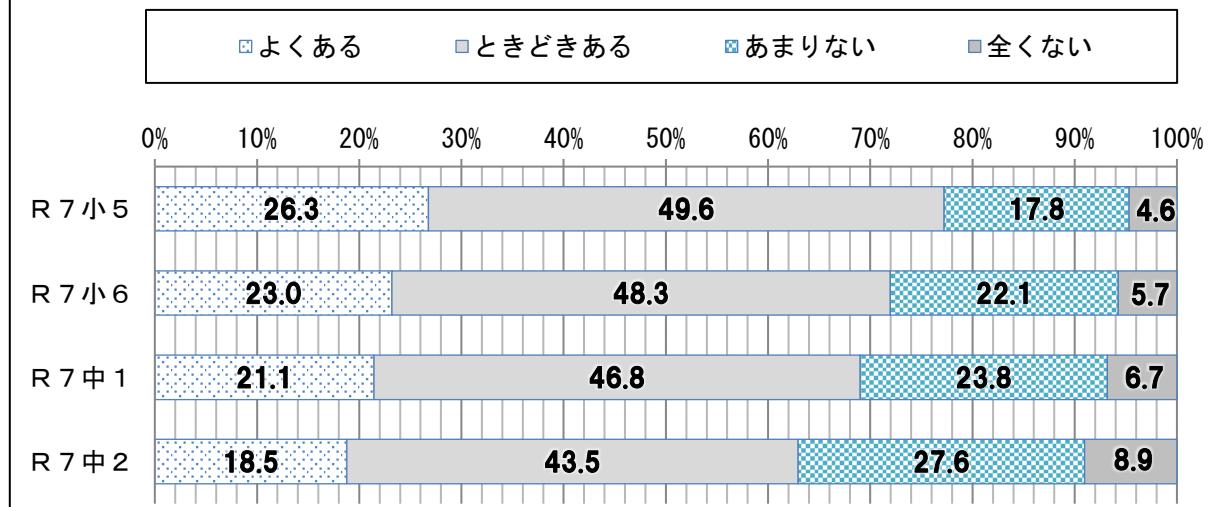


[小: 質問26 中: 質問27] 学校で地域の大人が学ぶ姿を見て、自分もがんばろうと思ったことがありますか。

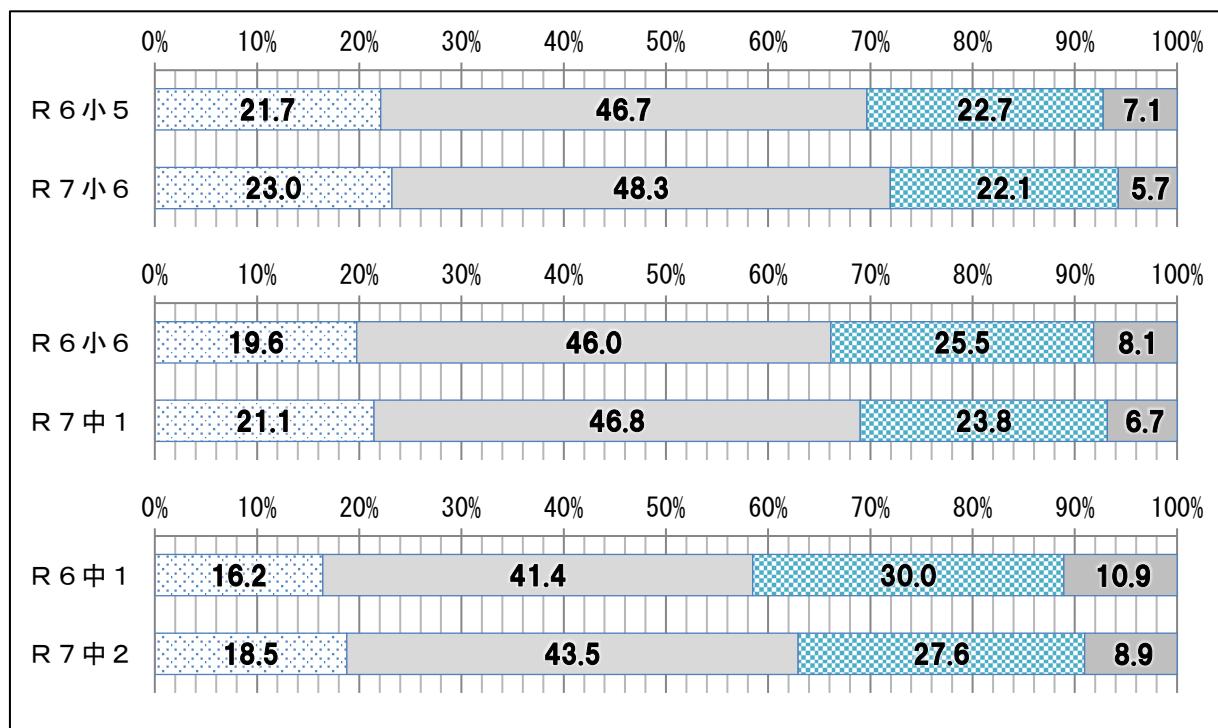
△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で70%程度であるものの、同一児童生徒の経年変化を見ると昨年度より増加している。

【今年度調査の結果】

小26 中27 学校で地域の大人が学ぶ姿を見て、自分もがんばろうと思ったことがありますか。



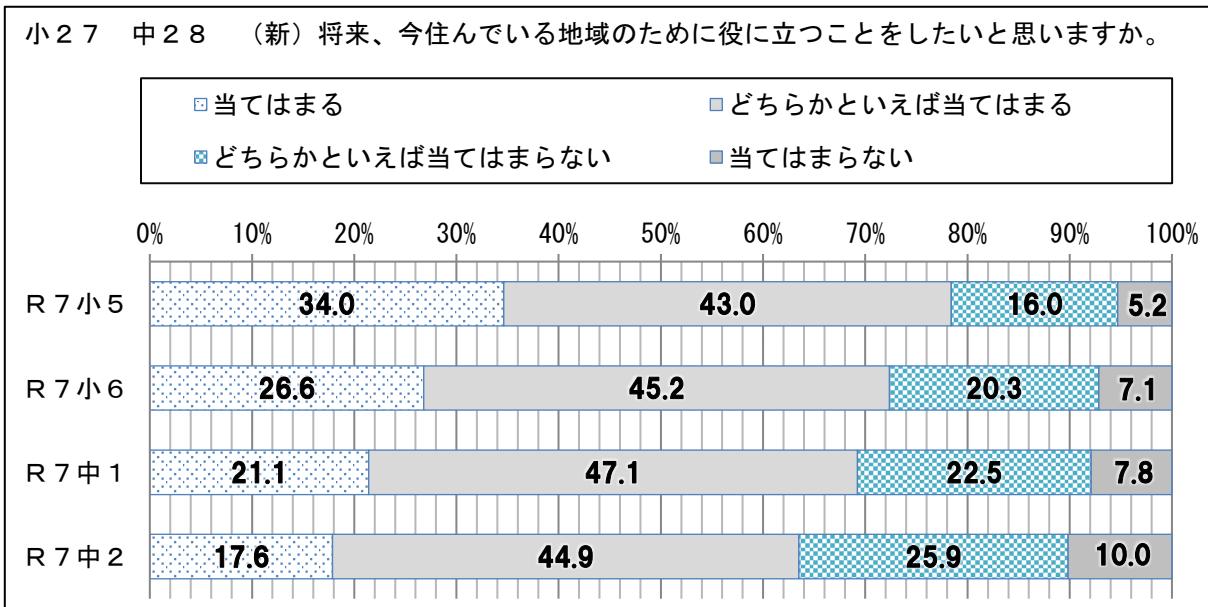
【同一児童生徒の経年比較】



[小: 質問27 中: 質問28] 将来、今住んでいる地域のために役に立つことをしたいと思いますか。

- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で70%程度であり、学年が進むにつれて減少している。

【今年度調査の結果】

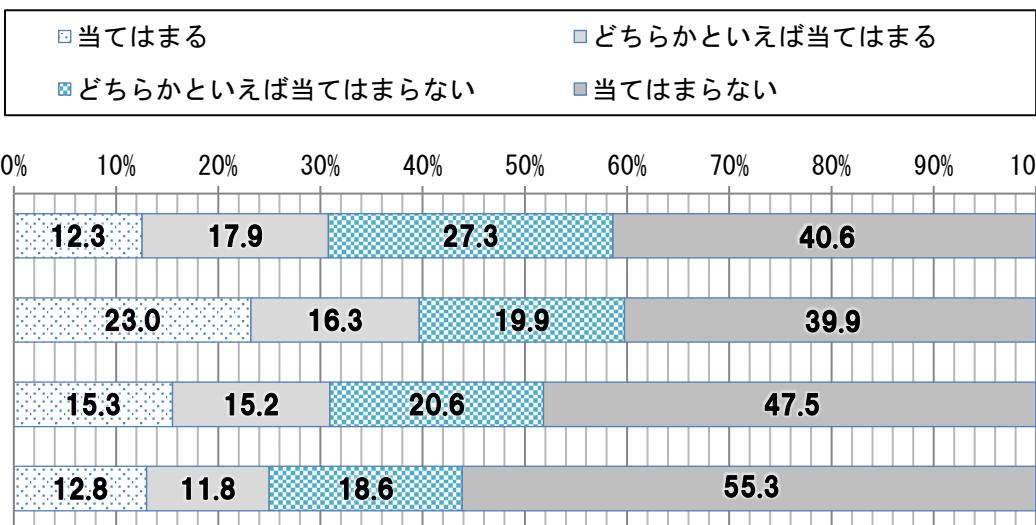


〔小：質問28 中：質問29〕地域の人々と話し合う場（熟議）に参加して、発言したことがありますか。

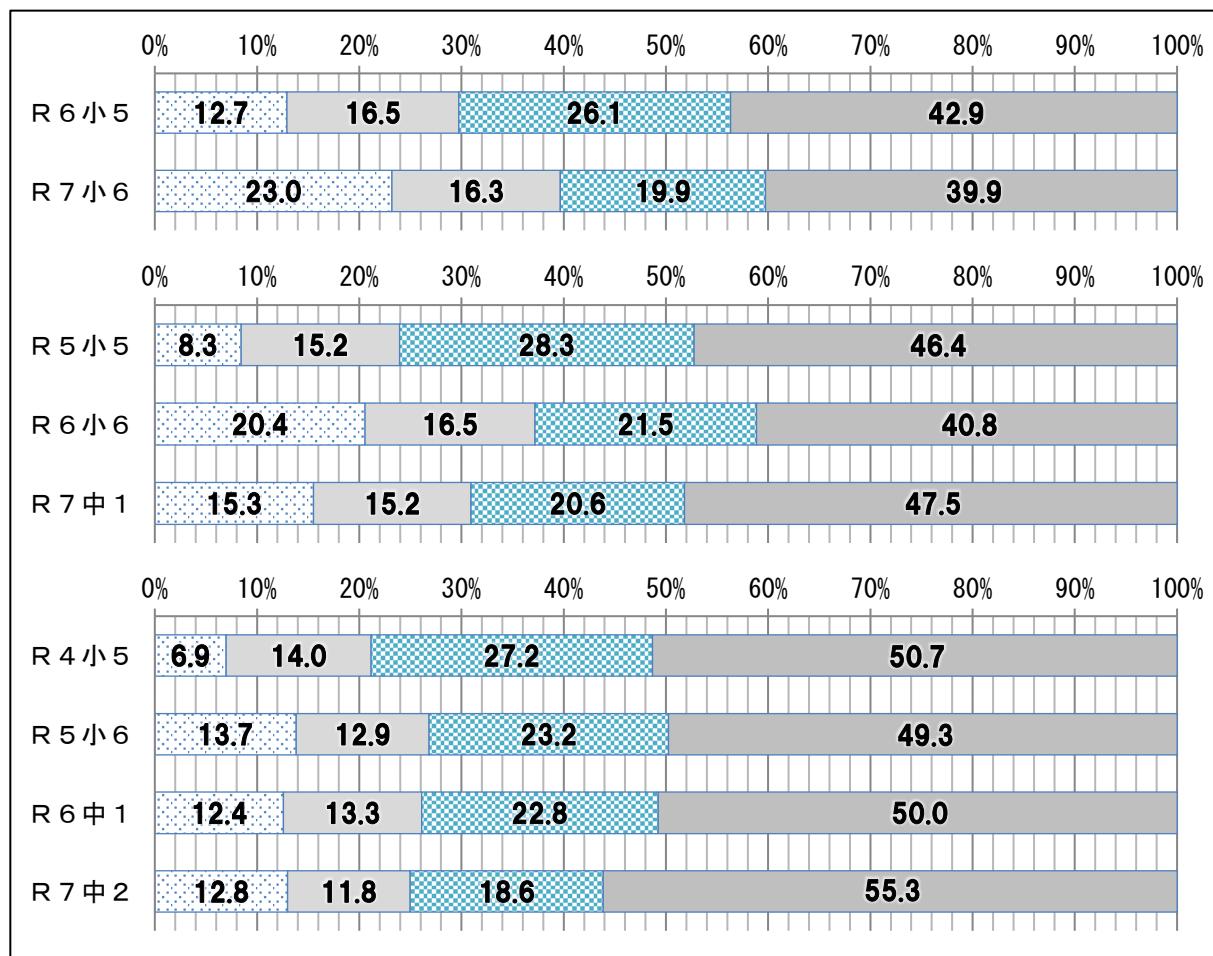
- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で30%程度である。

【今年度調査の結果】

小28 中29 地域の人々と話し合う場（熟議）に参加して、発言したことがありますか。



【同一児童生徒の経年比較】

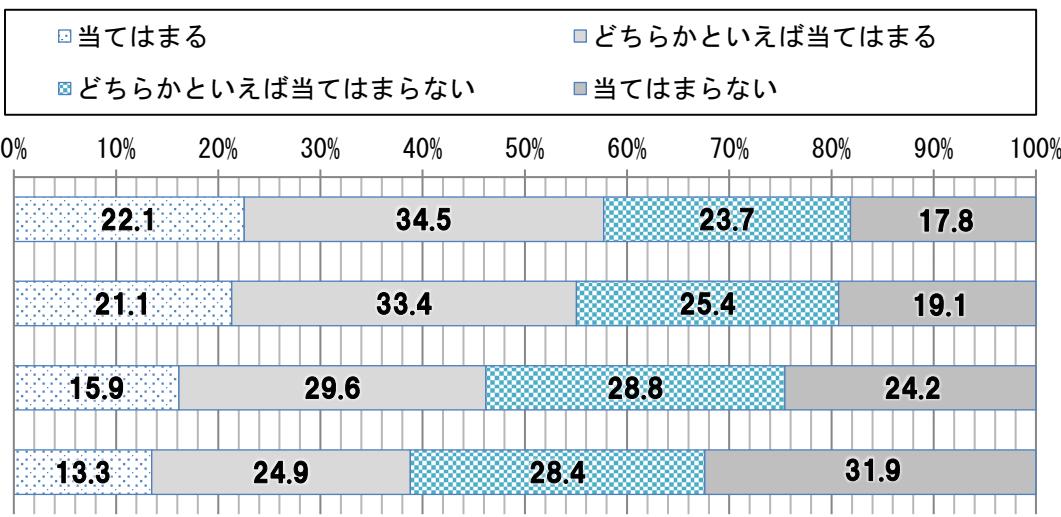


〔小：質問29 中：質問30〕あなたの学校では、保護者や地域の人々が参加して新体力テストを行うなど、家庭と地域が一緒にになって体力向上の取組を進めていますか。

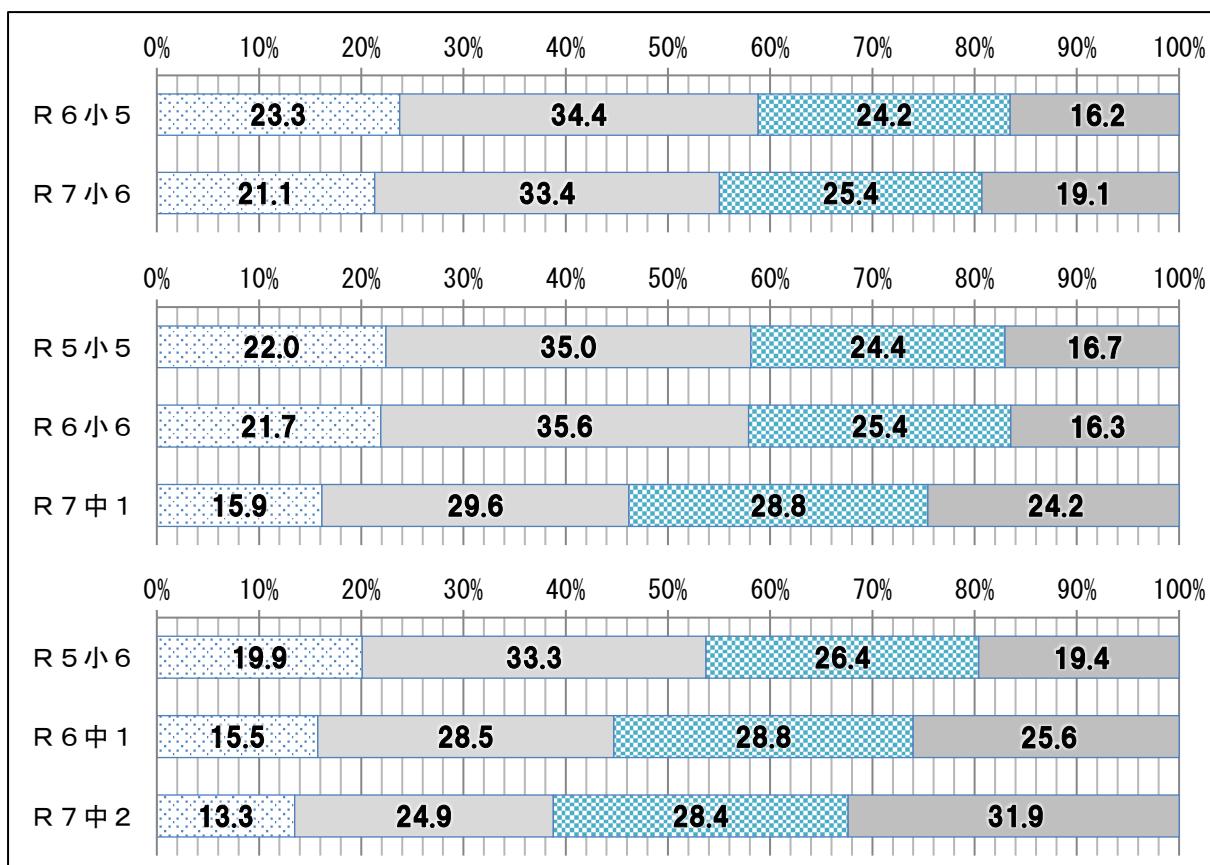
- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で60%未満であり、学年が進むにつれて減少している。

【今年度調査の結果】

小29 中30 あなたの学校では、保護者や地域の人々が参加して新体力テストを行うなど、家庭と地域が一緒にになって体力向上の取組を進めていますか。



【同一児童生徒の経年比較】



IV 学力向上に向けた今後の取組

県教委、各市町教委、各学校が連携して、以下の二つに取り組む。

なお、取組を推進する際には、「取組の意義や目的を確認しながら推進すること」「取組の進捗状況を確認すること」を重視する。

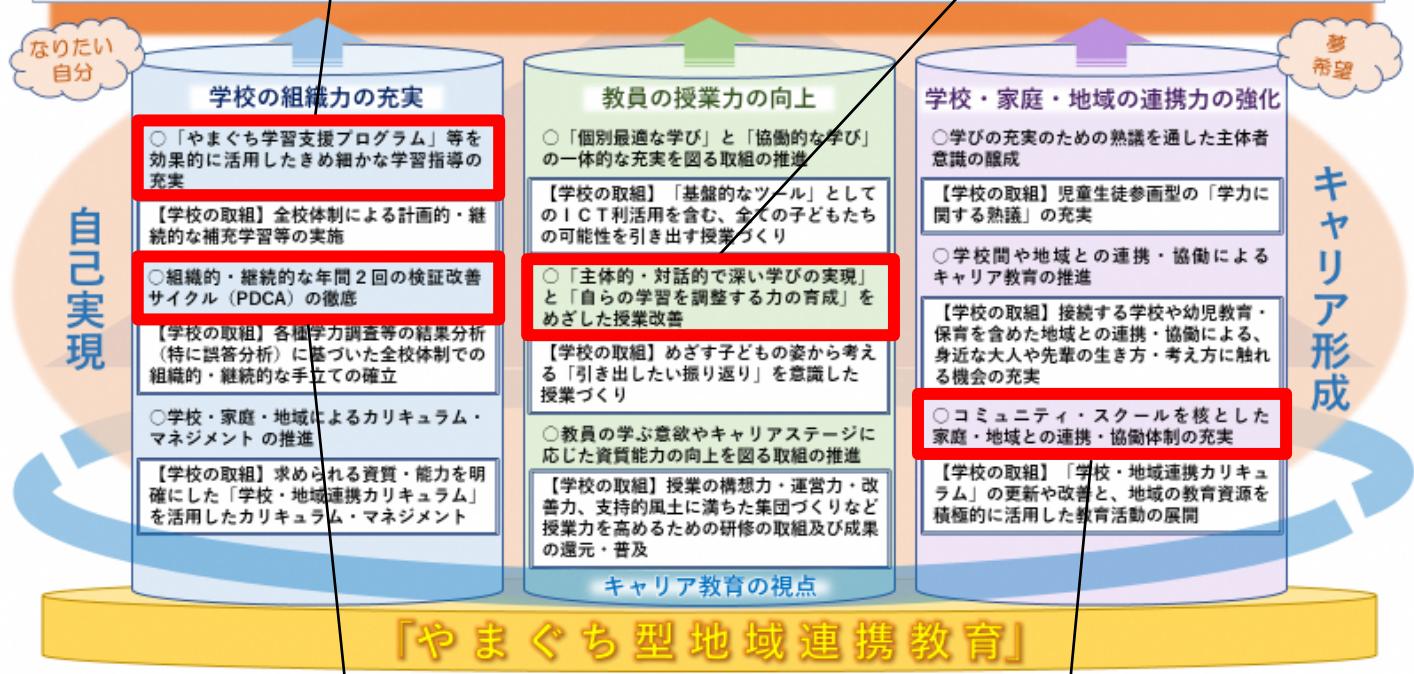
- ◆ 「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤とし、「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の三つの視点からの取組を推進するとともに、検証改善委員会からの客観的評価を受け、検証改善サイクルに取り組む。
- ◆ 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の更なる充実を図り、児童生徒一人ひとりの確かな学力の定着と向上を図る。

学力向上に関する取組の中で、今回の結果を受けて特に重点をおいて取り組むこと

今回の調査で課題のあった問題を克服することに特化した「やまぐち子学習プリント DASH」を提供し、今の学年で身に付けるべきことが着実に身に付くよう支援します。

子どもが、「めあてに対して何ができるようになつたか、分かるようになったか」「友達や先生、地域の人などとの関わりによって気付いたこと」「次は、どのようなめあてをもって学んでいきたいか」等の視点で学習を振り返りながら資質・能力を高めていくよう、授業改善の取組を支援します。

自立した学習者の育成 ～これからの時代に求められる資質・能力を育む学びを～



山口県学力定着状況確認問題～校内研修資料～を提供し、課題改善に向けたプロセスの例を示すことで、校内研修等において結果分析ができるよう支援します。

子どもたちの学習意欲の向上に向けて、学校・家庭・地域が連携・協働しながら、「学校・地域連携カリキュラム」の更新や改善を進めることができるよう支援します。